

令和2年第5回教育委員会臨時会議事録

令和2年8月14日

東久留米市教育委員会

令和2年第5回教育委員会臨時会

令和2年8月14日（金）午前9時30分開会

市役所7階 701会議室

- 議題 (1) 議案第35号 令和3年度使用東久留米市立小中学校特別支援学級用教科用図書
の採択について
(2) 議案第36号 令和3年度～6年度使用東久留米市立中学校用教科用図書採択
について
-

出席者（5人）

教 育 長	園 田 喜 雄
委 員 (教育長職務代理者)	尾 関 謙一郎
委 員	細 田 初 雄
委 員	宮 下 英 雄
委 員	馬 場 そわか

東久留米市教育委員会会議規則第13条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

教 育 部 長	森 山 義 雄
指 導 室 長	椿 田 克 之
教 育 総 務 課 長	栗 岡 直 也
学 務 課 長	白 土 和 巳
主幹・統括指導主事	今 野 稔 恵
調査委員会委員長	松 田 正
調査委員会委員長	出 張 吉 訓

事務局職員出席者

教育総務課庶務係長	鳥 越 富 貴
-----------	---------

傍聴者 40人

◎開会及び開議の宣告

(開会 午前9時30分)

- 園田教育長 これより令和2年第5回教育委員会臨時会を開会します。
委員は全員出席です。
-

◎議事録署名委員の指名

- 園田教育長 本日の議事録の署名は宮下委員にお願いします。
○宮下教育委員 はい。
-

◎傍聴の許可

- 園田教育長 傍聴の許可に入ります。傍聴の希望の方はいらっしゃいますか。
○鳥越庶務係長 いらっしゃいます
○園田教育長 お入りいただきます。暫時休憩します。

(休憩 午前9時31分)

(傍聴者 入室)

(再開 午前9時33分)

- 園田教育長 休憩を閉じて再開します。

傍聴の方にお知らせします。新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴席の間隔をできるだけ空けています。換気にも配慮していきますが、マスクをしていただくなど個々の対策もお取りいただきますようお願いいたします。また、皆様にはお配りしている「教育委員会傍聴人規則」に従って傍聴していただくようお願いいたします。なお、お配りしている資料については、お入り用の場合はお持ち帰りいただけます。

◎議事録の承認

- 園田教育長 議事録の承認に入ります。8月3日に開催した第8回定例会の議事録について、ご確認をいただきました。

特に訂正のご連絡はいただきませんでした。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

異議なしと認め、議事録は承認されました。

◎議案第35号の上程、説明、質疑、討論、採決

- 園田教育長 日程第1「議案第35号 令和3年度使用東久留米市立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について」を議題とします。教育部長から説明をお願いします。
- 森山教育部長 「議案第35号 令和3年度使用東久留米市立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について」、上記の議案を提出する。令和2年8月14日提出。東久留米市教育委員会教育長、園田喜雄。提案理由ですが、令和3年度に東久留米市立小中学校特別支援学級が使用する教科用図書について採択する必要があるためです。詳しくは指導室長から説明します。
- 椿田指導室長 東久留米市教科用図書採択要綱第15条の2に特別支援学級で使用する教科用図書の採択についての記載があります。この規定に基づき、令和3年度使用東久留米市立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択に係る事務手続を進めてきました。委員の皆様には、各校より申請のありました調査資料と見本本をご用意しています。ご審議のほどよろし

くお願いします。

それでは、特別支援学級用教科用図書選定調査委員会の委員長から説明をしてもらいますがよろしいでしょうか。

○園田教育長 お願いします。

(松田選定調査委員会委員長 入室)

○園田教育長 松田委員長、調査報告を取りまとめていただきましてありがとうございます。その調査の経緯等のご報告をお願いします。

○松田委員長 特別支援学級用教科用図書選定調査委員会委員長を務めました東中学校校長の松田正です。よろしくをお願いします。

先ず、委員会の開催経過と協議の内容を説明します。去る5月20日(水曜日)及び7月13日(月曜日)に、特別支援学級用教科用図書選定調査のための委員会を開催しました。5月20日に行われる予定であった第1回特別支援学級用教科用図書選定調査委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、書面での開催となりました。特別支援学級設置小学校4校、中学校3校の計7校の校長の合意の下、私が委員長として選出され、その任を受けました。教育委員会事務局からの趣旨説明に即して、特別支援学級設置校別資料作成委員会に資料の作成を依頼することとしました。7月13日に第2回特別支援学級用教科用図書選定調査委員会を開催しました。各学校が教科用図書として使用を希望する一般図書の調査資料について検討を行いました。その際、本選定調査委員会では、東久留米市教科用図書採択要綱実施細目に則り、①内容、②構成・分量、③表記・表現、④その他の4観点に加え、次の視点を念頭に資料が適切かどうか調査をしました。第一は、児童・生徒一人ひとりの障害の程度が違うので、その実態に応じて最もふさわしい内容のものを選定すること。第二は、可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容をもつ図書であること。第三は、上学年で使用することとなる教科用図書との関連性を考慮すること。さらには、教科用として使用する上で、適切な体裁の図書であること。例えば、音声のみによる教材、ジグソーパズル型、切り絵工作型などの図書としての体裁をなしていないものは除いています。その結果、各学校から提出された資料は適切であると判断されました。

本日、各学校から申請が出ている「令和3年度使用特別支援学級用教科用図書一覧」と、選定調査委員会が適切であると判断した調査資料を配付しています。また、若干の見本も用意しています。ご参考にしてください。以上で報告を終わります。

○園田教育長 了解しました。それでは委員からご質問はありますか。

○馬場教育委員 松田委員長から説明がありましたように、特別支援学級に通う子どもたちはそれぞれ発達段階が違っていたり、障害の程度や情緒面にも様々な違いがあると思います。「一人ひとりの子どもにとってふさわしい教科書であるように」という視点を持つこと自体が、とても難しいと思います。そのような中ではありますが、子どもたちに合った教科書を大切に選びたいと思います。

子どもたちそれぞれ合わせて違った教科書を使用するのは難しいことは分かりますし、学級は年度ごとに入れ替わりがあって特徴の違った子がまた入ってくるという点も考えると選ぶのはとても大変だと思います。内容についてどれほど慎重に吟味されているかを確認させていただきたいと思います。

○松田委員長 各学校では子どもたちの学習の状況や経験を鑑みて、より効果のある本を使用することを考えています。各校における子どもたちの実態を踏まえることはもちろん、教科の特性も踏まえて、星の付いている検定本と一般図書を併用することを心がけています。

○園田教育長 よろしいですか。そのほかいかがですか。

○細田教育委員 昨年度も同じ質問をしましたが、子どもたちの学びのために気になりますので改めて質問をします。学年ごとに使用する教科書が決まっている検定本については心配していませんが、いわゆる一般図書についてはそれぞれの学校で選んでいるので、小・中学校で使用する本が重なることもあると思うのですが、昨年度の回答では中学校は小学校が使用している教科書を確認しているとのことでした。今年度も同じ状況でしょうか。

学校でも事務局でも確認しているとは思いますが、過去に使用したもののなので確認漏れによる重複などが心配です。この点はどのように対応していますか。

○松田委員長 小・中学校間の連携、これは「小中連携の日」等ありますが、特別支援学級ではそこを大変重視しています。日常の児童・生徒への関わりなどについては、進学時においてしっかりと学校間で情報共有してきた経験があります。一般図書の採択においても十分に情報交換をしています。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、質疑を終了します。松田委員長ありがとうございました。

(松田選定調査委員会委員長 退席)

ここで採決の仕方について確認します。先ほど松田委員長から調査の経緯、一般図書選定の必要性などについてご報告いただきました。資料は学校ごとに整理されていますので、採択については1校ずつ行いたいと考えますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

「議案第35号 令和3年度使用東久留米市立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について」の採決に入ります。

第三小学校の教科用図書は一覧にあるものでよろしいでしょうか。挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員挙手です。

第七小学校の教科用図書は一覧にあるものでよろしいでしょうか。挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員挙手です。

神宝小学校の教科用図書は一覧にあるものでよろしいでしょうか。挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員挙手です。

南町小学校の教科用図書は一覧にありますものでよろしいでしょうか。

(全員挙手)

全員挙手です。

東中学校の教科用図書は一覧にありますものでよろしいでしょうか。

(全員挙手)

全員挙手です。

西中学校の教科用図書は一覧にありますものでよろしいでしょうか。

(全員挙手)

全員挙手です。

中央中学校の教科用図書は一覧にありますものでよろしいでしょうか。

(全員挙手)

全員挙手です。

以上、各校にわたって各委員のご賛同を得ましたので、議案第35号は可決することに決定しました。

◎議案第36号の上程、説明、質疑、討論、採決

○園田教育長 次に、日程第2「議案第36号 令和3年度～6年度使用東久留米市立中学校用教科用図書の採択について」を議題とします。教育部長から説明をお願いします。

○森山教育部長 「議案第36号 令和3年度～6年度使用 東久留米市立中学校用教科用図書の採択について」、上記の議案を提出する。令和2年8月14日提出。東久留米市教育委員会教育長、園田喜雄。提案理由ですが、令和3年度～6年度に東久留米市立中学校が使用する教科用図書について採択する必要があるためです。詳しくは指導室長から説明します。

○樺田指導室長 東久留米市教科用図書採択要綱の規定に基づき、東久留米市立中学校で使用する教科書採択に係る事務手続を進めてきました。お手元の資料について説明します。

委員の皆様には教科用図書採択に関連した各種通知・要綱のほかに、選定調査報告書、学校の意見をまとめたもの、市民の意見の写し、教科用図書の見本を用意しています。

初めに、選定調査報告書について説明します。令和3年度から6年度まで使用する東久留米市立中学校用教科用図書が文部科学大臣の検定を経たことから、採択手続に係る「教科書選定調査委員会」並びに「教科別資料作成委員会」の設置が必要となりました。お手元の選定調査報告書は、「教科書選定調査委員会」が作成した資料です。選定調査委員会による報告書の内容については、後ほど、選定調査委員長から説明いただく予定です。次に市民の意見、学校の意見を取りまとめたものです。市民の意見については市民が開示してもよいの応否を記載する項目において、開示してよいと確認できたものについて資料をまとめています。教科用図書の展示会については中央図書館大規模改修のため本庁舎のみで行い、新型コロナウイルス感染症対応も含めて期間を延ばし、6月10日（水曜日）から7月6日（月曜日）まで、土日を除いて行いました。各学校に対しては学校に直接資料を運び、合計7週間、教科用図書の展示を行いました。市民の皆様からは94件、学校からは全中学校から多くの意見をいただくことができました。

○園田教育長 先ほど「教科書選定調査委員会」と「教科別資料作成委員会」という言葉が出てきました。それぞれの委員会の委員の専門であるとか、こういった立場なのか、所属の人が委員になっているのかなどについて補足説明をしてください。

○樺田指導室長 先ず「教科書選定調査委員会」ですが、委員の定数は9名としています。構成は学識経験者1名、市民2名、学校関係者4名、地域関係者2名となっています。また、「教科別資料作成委員会」の委員定数については、小・中学校それぞれ各教科別に5名を上限としています。中学校は教科ごとにそれぞれ3名から5名という構成になっています。

○園田教育長 議論の手順としては「教科別資料作成委員会」でまず資料等を作成して、それを「教科書選定調査委員会」でさらに議論をするという流れですか。

○樺田指導室長 はい。

○園田教育長 分かりました。委員からご質問はありますか。よろしいですか。

それでは、本日は教科ごとの採択となります。初めに、選定調査委員会委員長に資料の説明をいただきまして、教育委員の皆様のご質疑の後に採択ということで進めさせていただきますがよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

それでは、選定調査委員会委員長にご入室をお願いします。

暫時休憩します。

(休憩 午前9時21分)

(出張選定調査委員会委員長 入室)

(再開 午前9時23分)

○園田教育長 休憩を閉じて再開します。

選定調査委員会委員長、よろしくをお願いします。

○出張委員長 おはようございます。選定調査委員会委員長の出張吉訓です。よろしくをお願いします。

○園田教育長 それでは、報告書作成の説明をお願いします。初めに、今回の選定調査の日程や留意された点、検討の観点などについてお話しください。

○出張委員長 去る5月20日(水曜日)及び7月8日(木曜日)、さらに7月17日(金曜日)の3回にわたり、教科用図書選定調査のための委員会を開催しました。なお、第1回教科用図書選定調査委員会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として書面による開催であったことを申し添えます。5月20日の委員会では、「教科別資料作成委員会」に資料作成を依頼しました。7月8日と7月17日の委員会では、資料作成委員会から作成した資料について報告を受け、その内容が適切かについて検討したところです。その際、報告資料については東久留米市教科用図書採択要綱実施細目に則り、調査研究の4観点、すなわち各教科書の「①内容のおさえ方」「②構成・分量」「③表現」「④使用上の便宜」の4点を踏まえて調査選定委員会で調査し、本選定調査委員会報告書を作成したところです。

○園田教育長 ありがとうございます。

選定調査委員会で特に話題の中心になったことがあれば、お聞かせください。

○出張委員長 教科書は教育活動の中心的な教材となるもので、子どもたちの教育に重要な役割を担っています。そこで、どの教科書を使って授業が行われると、子どもたちにとって学習内容がより分かり、学習したことの定着がより図られるだろうか、という視点をもって話し合いを行いました。実際に子どもたちを指導する場面を想定し、授業の流れが示されていて学習しやすいかという話や、理科の教科書を検討する際には、必要な実験器具が学校にそろっていて、教科書に示されたとおりの学習活動を進めることができるかというような話なども出ました。

このように、選定調査委員会では東久留米市の子どもたちのためにという思いで活発に意見を交換しまして、報告書としてまとめています。

○園田教育長 ここ数年、教科書が大きくなり、通学の際の子どもたちのカバンが重過ぎるのではないかということが話題になったりします。各学校でも工夫をしているところですが、そのような内容の意見はありましたか。

○出張委員長 ここにも展示されていますが、見本本を見ていただきますとAB版などもあり、会社によって大きさが異なる教科書があることや、写真やイラストを多用されていることについても話題になりました。しかし、子どもたちの学力向上につながる教科書が最も良いと考えればページの数や重さや形状だけで判断できるものではなく、全体のバランスが大事なのではないかといった流れであったと思います。

○園田教育長 分かりました。ありがとうございます。

〔国語〕

○園田教育長 それでは、「国語」から順次説明をお願いします。

○出張委員長 初めに、新学習指導要領に示された教科の目標についてお伝えします。「国語」については「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

次に、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料をご覧ください。1ページからです。教科書番号順に説明していきます。

【東京書籍】です。各單元において、どのような力をつけるべきかが精選されていて、明確であり工夫されていると思います。イラストも効果的に用いられており、読みやすくなっていました。次に【三省堂】です。単元の構成や系統性がよくできています。また、分量についても適切であると思います。図やイラストが効果的に用いられており、丁寧な説明があるため理解しやすいものになっていました。次に【教育出版】です。單元への指針が示されており、「学びナビ」はポイントを押さえることができ、生徒が目標を持ちやすい内容になっていました。また、教材選定は非常に良く、例えば1年生の「オツベルと象」「森には魔法使いがいる」などが挙げられています。非常にいい内容になっていました。内容も豊富であり、単元の構成や系統性も一貫していると判断しています。次に【光村図書】です。教材の文章は適切であり、巻末の資料にも作品が載せられていました。巻末の資料は文法や情報など多岐にわたって非常に充実しています。單元構成と配置が3学年共通で統一されていてスパイラル構成となっているため、過去の振り返りもできるようになっていました。

冒頭で申し上げたとおり、「新学習指導要領 国語編」における教科の目標では、国語科において育成を目指す資質・能力について、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力としています。そして、国語で理解し、表現する言語能力を育成する教科が国語科であることを示しています。東久留米市の子どもたちの実態を踏まえすと、選定調査委員会では、総合的には「光村図書」または「三省堂」が使用に適切なのではないかという方向で話し合われました。

○園田教育長 ありがとうございます。ご質問、ご意見はいかがでしょうか。

○尾関教育委員 急激な社会変化の中で、とりわけ情報化が驚くほど進展しています。これに伴って、特に子どもたちにとっては、言葉を取り巻く環境が変化しています。国語は、全ての教科の学習の基盤となる資質・能力である言語能力の育成を図るために要となる教科だと思っています。学力向上に向けて、より効果的に学習活動を進められる教科書を選ぶのが良いのではないかと考えています。

今年度の教科書採択は学習指導要領の改訂時期と重なっていますが、その点も含めて子どもたちの学びをより伸ばすための配慮は適切に行われているのでしょうか。新学習指導要領への対応についても全体的な傾向を教えてください。さらに、社会との関連の中で言語能力の育成をどのように位置付けているのかについても伺いたいと思います。

○出張委員長 ありがとうございます。いずれの教科書も新学習指導要領の内容を反映しており、内容が充実していました。また、学習者が学習しやすい配慮もされています。今、委員がご指摘の社会との関連については、いずれの教科書もメディアとのかかわりを学ぶ機会を各学年に設定するなどしています。多様な情報を関連づけながら必要な情報を的確に捉えて現代の課題について考えを深めたり、論理的思考を行ったりする扱いのものが出ていました。

○尾関教育委員 ありがとうございます。特に、メディアリテラシーについて解説した読み物を取り上げているというところもあると思います。社会との関連の中で言語能力を育成するためには有効であると思いますが、メディアリテラシーについては評論家の池上彰氏を2社が取り上げていて、その中でも取り上げ方が多角的に報道文の読み比べなども入れたものと、

単純に取り上げているだけのものと、教科書によっては姿勢が違うように思います。そういう点で、私はメディアリテラシーの一つをとっても多角的に取り上げる教科書を選びたいと思います。

○園田教育長 そのほかいかがですか。

○宮下教育委員 先ほど委員長から冒頭で、これまでの委員会での話し合いでは、東久留米市の子どもの学習の定着と学力向上につながる視点を重点にした、というお話がありました。本当にありがとうございます。これから始まる各教科の論議の原点または基盤となると考えています。そのためには先ず、東久留米市の子どもの学力の現状の理解がなされなければならないと考えています。東久留米市の国語の子どもの学力の現状については、東京都の「児童・生徒の学力向上を図るための調査並びに本市の学習定着度調査の結果」を見ますと、「言語についての知識・理解・技能」については、現在を含めて数年来の課題です。基礎・基本を確実に定着させ、その知識を活用できる力を養うことは言うまでもありませんが、達成するまでには不断の努力が、指導する側にも学習する側にも必要だと考えます。特に、学習する側の子どもたちが目標や見通しをもって授業に取り組むことができれば、その達成への道のりは改善されてくると考えます。

いずれの教科書においても学習者が学習しやすい配慮があると述べられていました。その視点から、もしお感じになられたことがあるとするならば、お話をさせていただければと思います。

○出張委員長 ご指摘ありがとうございます。教科書を見て、子どもたちが学習しやすい配慮とはどういうことかと申しますと、「目標があって、視点があって、流れが示されていて、それぞれの単元の構成の工夫が見られたものである」ということです。いずれの教科書も学習活動の並びが統一されており、子どもたちが学習の見通しをもって主体的に取り組みやすい内容になっていると感じました。

○宮下教育委員 ありがとうございます。国語科の目標は言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して国語を正確に理解し表現する資質・能力を育成することだと思っています。その意味からして、言語についての知識・理解・技能は国語科における育成すべき重要な能力の一つです。数年来続くこの重要な課題解決への糸口は、子どもたち自らが探し求められるかどうかの視点で考えていくことと考えて、私はこれからの採択に向けていきたいと考えています。

○園田教育長 その他の委員はいかがでしょう。

○馬場教育委員 質問ではなくて感想です。国語科の教科書を見ていて、言語についての知識・理解・技能だけでなく、それぞれがSDGsを意識したり、QRコードで、例えばこれは、京大の山極寿一先生のゴリラの話が載っているのですが、ゴリラの生態系から人間を通してみての違いや、これからの生き方とかにも展開していき、ちょっと道徳なところも入っているという、一つの物語の中にいろいろな要素を酌み取れるものが総合的に入っている文章がそれぞれにあり、どの教科書にも良いところがあると思いました。私が山極寿一先生のことを言ったのは、中学生の時に感動して手紙を書いたら、すぐに私に返事をくれたという思い出があるからです。そういう体験を子どもたちにもしてほしいなと思います。教科書の何かが自分の人生に与えるものは大きいと思うので、そういう観点からも選ばせていただきます。

○園田教育長 そのほかいかがでしょう。

それでは、採択に入らせていただきます。採択は厳正を期すために無記名の投票としたい

と思いますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

また、決定につきましては多数決とし、過半数の票を得た教科書がない場合には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項によりまして、教育長の私が決定することにさせていただきます。

それでは、投票方法については事務局から説明をお願いします。

- 栗岡教育総務課長 投票方法について説明します。教育長と教育委員4人の方々に投票用紙をお配りします。ご投票される教科書会社名の上の欄に1社のみ「○」を付け、投票箱に入れていただくようお願いします。

「国語」以降の教科においても同様にお願いします。

回収されました投票用紙はその場で開票し、結果を発表します。

それでは投票用紙の配付をお願いします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

- 栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。光村図書5票です。

- 園田教育長 よって「国語」は「光村図書」となりました。

〔書写〕

- 園田教育長 次に「書写」の説明をお願いします。

- 出張委員長 「書写」を説明します。資料をご覧ください。5ページになります。

【東京書籍】からです。「文字のいずみ」から盛りだくさんの知識が得られるため、生徒の興味・意欲につながるものになっていました。また、教科書のサイズはA B版で大きめのため、机の上に置くと手本とするには工夫を要するものになっています。次に【三省堂】です。内容は古典から現代まで多岐にわたっていきまして、文化としての書写の意義が表現されていました。また、文字文化に関する資料もあり、書写に親しみを持つことのできる内容となっています。教科書のサイズはB 5版のため、机の上に置いて手本とするのには便利ではないかと思いました。次に【教育出版】です。内容については豊富で、写真やイラストも効果的に用いられており、理解しやすいものになっています。教科書のサイズはA B版で大きいいため、机の上に置く手本とするには工夫が必要であると考えます。次に【光村図書】です。毛筆の基本である止め、はね、折れ、払い等が分かりやすく示されており、学習に適していると思います。教科書のサイズもB 5版のため、机の上に置いて手本とするのには良い内容になっています。選定調査委員会では、総合的には「光村図書」または「三省堂」が使用に適切なのではないかとこの方向で話し合われました。

- 園田教育長 ご意見、ご質問いかがですか。

- 細田教育委員 私は、書写の授業で学習したことは、実生活や学習場面で役立つと有意義であると考えています。中学校では小学校で学んだ楷書から行書へと学習が進むと理解しています。目的や必要に応じて書き方や書体を選べるようになること、身近に見る手書きの文字や活字などの様々な表現が字体の豊かさ・文字文化であることを感じてほしいと思いますが、いかがでしょうか。

- 出張委員長 委員のご指摘のところですが、いずれの教科書も楷書から行書への学習が円滑に行われるような工夫が見られました。また、実生活の関連についても工夫が見られました。

教科書会社による違いとしては、教科書の大きさが挙げられるのではないかと思います。

「東京書籍」「教育出版」はA B版であるため、生徒の机の上に収まりにくくなっています。

その点、「三省堂」「光村図書」はB 5版であるため、机に乗せても使いやすいようなも

のになっています。

○細田教育委員 教科書を見ながら書く練習をするわけですから、使いやすさの点から大きさも気になりますね。ありがとうございました。

○園田教育長 ほかはいかがでしょうか。それでは採択に入らせていただきます。

○栗岡教育総務課長 投票用紙の配付をお願いします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。光村図書5票です。

○園田教育長 よって「書写」は「光村図書」となりました。

〔社会(地理的分野)〕

○園田教育長 次に「社会」の説明をお願いします。

○出張委員長 初めに、新学習指導要領に示されました教科の目標についてお伝えします。

「社会」については、「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。」とあります。

続いて、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料をご覧ください。9ページです。説明します。まずは【東京書籍】です。教材や資料は写真や資料が最新のものが多く、大きさが適切で量が豊富なため、見やすく使いやすいものになっています。また、興味・関心を引き出す工夫もされていました。「持続可能な社会づくり」「社会的な見方・考え方」を重視しており、一貫性のある考察を深められる工夫があります。「見方・考え方」については、コーナーが設けられていました。「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」が設定されており、学習活動を進めやすいものになっています。また、他分野や小学校との系統性もある内容になっていました。次に【教育出版】です。「地理の窓」というコラムを設けまして、興味・関心を広げる工夫がされています。見開きの導入の写真は、生徒が関心をもつような工夫がされていました。また、資料や写真等に最新のものが多く、大きさが適切で量が豊富なため、見やすく、使いやすいものになっています。また、基本的・基礎的な技能を習得しやすいものでありました。「地理的な見方・考え方」については、どこで、どのような見方・考え方を働かせるのか明示がありませんでした。次に【帝国書院】です。写真や資料が最新のものが多く、興味・関心を引き出す工夫がなされていました。また、資料は分かりやすく大きいため見やすく、基本的・基礎的な技能を習得しやすい工夫がされています。学習事項も「節の問い」から「学習をふり返ろう」までの流れとして設定しており、「社会的な見方・考え方」及び「持続可能な社会」に一貫性のある考察を深められる工夫がされています。他分野や小学校とも系統性をもたせています。章の構成が見通せるようになっており、主題や視点などが一目で分かるような工夫がされています。次に【日本文教出版】です。写真や資料が最新のものが多く、興味・関心を引き出す工夫がなされていました。また、資料は、分かりやすく大きいため見やすく、基本的・基礎的な技能を習得しやすい工夫がされています。「世界・日本の諸地域」の主題・視点が記載されており、分かりやすい内容になっています。また、「世界」と「日本」の学習内容の分量は適切で、バランスよく構成されていました。文が読みやすい表現であり、重要語句についてしっかり解説しているなど、生徒が理解しやすい工夫がされています。

冒頭で申し上げましたように、「新学習指導要領 社会編」における教科の目標で示されている「社会的な見方・考え方」とは、社会科の特質に応じた見方・考え方の総称で、社会

的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする際の「視点や方法（考え方）」を意味しています。「視点や方法（考え方）」を用いて課題を追究したり解決したりする学び方により、社会科の本質的な学びが促され、深い学びを実現するための思考力、判断力が育成されます。なお、地理的分野における「社会的な見方・考え方」とは、「社会的事象の地理的な見方・考え方」のことを表しています。

この点について東久留米市の子どもたちの実態を踏まえ、選定調査委員会では総合的には「東京書籍」または「教育出版」が使用に適しているのではないかと方向で話し合われました。説明は以上です。

- 園田教育長 ご意見、ご質問はいかがでしょうか。
- 尾関教育委員 「東京書籍」は社会科の課題を設けて探求させることを重視していることを意識したつくりとなっているということです。繰り返し探求というのはいいのですが、規定の授業時間の中で達成できる、またはできないということにはならないのでしょうか。
- 出張委員長 標準授業時間数よりも少ない授業時数で教科書の内容を学べるようにつくられております。ですから、生徒の理解に合わせて授業を展開したとしても、全ての探究を取り上げることができるようになっていて考えています。
- 尾関教育委員 会社によって、課題設定、探究の重点の違いがあるように思います。地理的な見方・考え方の明示がないというような例も挙げられていますが、例えば、地方格差の問題を取り上げていて、「東京書籍」の場合はテレビディレクターになったつもりで探求しようという、自分が番組をつくってその問題を探究していくというように、詳しく、分かりやすく、楽しんでできるということが載っていました。

自分の立場を明確にして思考・判断させるというような考え方が必要だと思いますので、そういう点から教科書を選んでいきたいと思います。

- 園田教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしければ採択に入らせていただきます。
- 栗岡教育総務課長 投票用紙をお配りします。

（投票用紙配付）（投票・開票）

- 栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。東京書籍4票、教育出版1票です。
- 園田教育長 よって「地理的分野」は「東京書籍」となりました。

〔社会（歴史的分野）〕 _____

- 園田教育長 次に「歴史的分野」の説明をお願いします。
- 出張委員長 選定調査委員会の資料の13ページをご覧ください。

まず、【東京書籍】です。各ページに大きく詳しい写真や図、イラスト、グラフが十分にありました。見開き2ページで1単位時間分となっていて、学習内容の分量が適切で、バランスよく構成されています。單元ごとの課題や時代区分が明確で、「基礎基本のまとめ」や「まとめの活動」が全ての単元に設けられており、系統的に学習を行えるような構成の工夫がありました。次に【教育出版】です。学習の導入、課題の設定と追究、まとめという流れで構成されており、「学習を始めよう」「歴史を探ろう」などで学習内容の補充・深化を促すような一貫した記述でした。探求は少なめですが、技能的要素を取り入れる工夫がありました。また、單元ごとのまとめができるようになっており、学習の流れが確認できるような工夫もされていました。見開き2ページで1単位時間分となっており、学習内容の分量が適切で、バランスよく構成されています。イラスト、写真や図、グラフは大きく、詳しいため、視覚的に捉えやすいものになっています。次に【帝国書院】です。

写真、地図、年表、イラスト、グラフ等は大きく、見やすいため、詳しく読み取ることができます。また、導入の際に効果的に使用できると思います。本文は丁寧に書かれており、本文理解につながる資料は適切に配置され、知識を確実に身につけられるような工夫がありました。単元ごとの課題や時代区分が明確で、時代の変遷を系統的に分かりやすく学習できる工夫となっています。次に【山川出版社】です。各ページにおける文章量や情報量が多く、キャラクターの使用が少ないなど高校への接続を意識した高度な内容であり、中学生の興味を十分にひくとはなかなか言えないものでした。記述が常態文であるため、中学生にはなじみがありすぎるものになっています。写真、資料等の図版が多く、様々な視点から考えることができる工夫がされています。単元ごとにまとめができるようになっていて、学習の流れが確認できるような工夫があります。また、まとめ欄や振り返り欄により自学自習ができる工夫がありました。次に【日本文教出版】です。テーマ学習のページなどで人物や事件を適切に学び、親しみをもたせる工夫がありました。探究は少なめですが、「見方・考え方」「深めよう」「確認」などで学習内容を補充、深化する工夫がされています。見開き2ページで1単位時間分となっており、学習内容の分量が適切で、バランスよく構成されていました。次に【育鵬社】です。見開き2ページで1単位時間分となっており、学習内容の分量が適切で、バランスよく構成されています。課題設定が十分とは言えないところがありますが、単元ごとの課題や時代区分が明確で、時代の変遷を系統的に捉えて学習を行えるような構成の工夫があります。基礎的、基本的な学習内容をしっかり学習できるよう紙面構成が統一されており、コラムによって興味・関心を広げられる工夫がされています。次に【学び舎】です。見開き2ページで1単位時間分となっており、学習内容の分量が適切で、バランスよく構成されています。生徒がテーマに沿って想像したり意見を出したりしやすいような図版や記述の工夫がされています。また、A4版で使いやすいものになっています。単元ごとに学習課題の設定や「歴史を体験する」ページが設定されており、学習内容を考えたり、深めたりといった系統的に学習を行えるような構成の工夫がされています。歴史的分野における「社会的な見方・考え方」とは、「社会的事象の歴史的な見方・考え方」のことを表しています。このについて、東久留米市の子どもの実態を踏まえて、選定調査委員会では、総合的には「東京書籍」または「教育出版」が使用に適切なのではないかという方向で話し合われました。説明は以上です。

○園田教育長 ご質問、ご意見はいかがでしょうか。

○尾関教育委員 「社会では、地理的分野だけでなく歴史的分野においても課題を探究する活動を通じて、よりよい社会を築くための指導を目指していく」ということが、この説明からよく分かりました。新学習指導要領では各教科とも主体的・対話的に深く学ばせていくということですから、課題をしっかりと捉えられるように学習内容が補充、深化される教科書を選ぶことが必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○出張委員長 委員ご指摘のように、よりよい話し合い活動を行うためには、しっかりとした課題設定を行うことが重要であることはもちろんです。また、単元ごとの目標が明確であることも大切だと考えています。課題設定だけでなく、目標及び目標の達成を特に明確に記述しているのは、「東京書籍」及び「日本文教出版」であったと思います。

○尾関教育委員 歴史は、ただ年号を暗記していても意味がないと思っています。課題や何かを学ぶことというのが大事ではないかと。歴史から何を学ぶか、何を探究していくかということで、社会的な見方・考え方が育成されていくと思いますので、そうした方向で教科書を選んでいきたいと思っています。

○園田教育長 ほかの委員はいかがでしょうか。よろしいですか。よろしければ採択に入らせていただきます。

○栗岡教育総務課長 投票用紙を配付します。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。東京書籍4票、教育出版1票です。

○園田教育長 よって「歴史的分野」は「東京書籍」となりました。

〔社会(公民的分野)〕

○園田教育長 次に「公民的分野」の説明をお願いします。

○出張委員長 選定調査委員会の資料の20ページをご覧ください。公民的分野の教科書としては、主権者教育の視点及び多角的視点を養うことが求められています。各教科書の説明をします。

先ず【東京書籍】です。写真やイラスト、図、グラフが順序よく整理されています。本文とのバランスもよく、分かりやすく構成されていました。見開き2ページで1単位時間となっており、導入、学習課題、チェック&トライの流れで一貫性を持たせる構成の工夫があります。どの単元においてもページや章のまとめがあり、生徒が単元を通して考えられるような工夫がされていました。次に【教育出版】です。身近な事例をコラム等の活用で扱っており、興味・関心を引き出すとともに、多角的な視点で考えさせる工夫がされています。生徒が親しみやすい内容の写真やイラストをはじめ、図版、資料は豊富で整理されており、分かりやすい表現の工夫があります。初めに単元のテーマが示されていました。探究はそれほど多くはありませんが、課題、探究、まとめの流れがある内容になっていました。次に【帝国書院】です。生徒が親しみやすい内容のイラストや写真、図など見やすい資料が多くて分かりやすいものになっています。迫力ある写真やコラム等を活用して身近な事例を扱うことで実感を伴わせるとともに、興味・関心を引き出し、多角的な視点で考えさせる工夫がされています。章の問いから各節の問い、振り返り、章の学習の振り返りという構成になっており、生徒が自分なりに課題を追究できる工夫がされています。次に【日本文教出版】です。生徒が親しみやすい内容のイラストや図版が多く、見やすい資料が多く、分かりやすいといった工夫があり、生徒がイメージしやすいものになっていました。理科を助けるコラムやコーナーが豊富で、身近な事例により興味・関心を引き出すとともに理解を深め、多角的な視点で考えさせたり、対話的な活動に取り組みやすくさせたり工夫がされています。単元ごとに色を統一して、図版に番号を付けて本文と関連させるなど見やすい工夫がされています。また、挿絵を使うことで全体の構成を見通せるような工夫がされていました。次に【自由社】です。写真や資料は見やすく、分かりやすい工夫がされていますが、「もっと知りたい」「ミニ知識」といったコラムの中には、高等学校の学習範囲程度のものがありました。歴史上の人物を多く取り上げることで、多角的・多面的に現在の事象を捉えられるような工夫がされています。見開き2ページで1単位時間分となっており、導入、学習課題、確認といった流れで統一されています。次に【育鵬社】です。資料は、説明をしないと生徒には分かりにくい新聞記事や英文資料といった高度なものが入っていました。見開き2ページで1単位時間分となっており、導入、学習課題の提示、まとめの課題の流れがあり、振り返りができる工夫がされています。「学習のまとめ」で学習内容の整理や作業学習をすることができ、学習活動を進めやすい工夫がされています。

公民的分野における「社会的な見方・考え方」とは「現代社会の見方・考え方」を示しています。この点について、東久留米市の子どもたちの実態を踏まえ、選定調査委員会では、

総合的には「東京書籍」または「教育出版」が使用に適切なのではないかという方向で話し合われました。説明は以上です。

○園田教育長 ご意見、ご質問はいかがでしょうか。

○尾関教育委員 新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」ということで、話し合い活動の中で自ら学ぶ態度が求められています。公民的分野の教科書ではどのような対応があるのでしょうか。

○出張委員長 「主体的・対話的で深い学び」については、各社とも話し合い活動の中で自ら学ぶことが出ていましたので説明します。

先ず【東京書籍】では、資料や写真が豊富なことや「みんなでチャレンジ」「スキルアップ」といった活動やコラムに工夫が見られ、生徒が基礎的・基本的な技能を身につけることができるだけでなく、対話的な活動に取り組むことができるようになっていました。次に

【教育出版】では興味や関心を広げる「公民の窓」、技能や表現力を養う「公民の技」などの工夫が見られ、生徒が基礎的・基本的な技能を身につけるだけではなく、学習を深めていくのに役立つつくりになっていました。次に【帝国書院】は資料や写真等が豊富であり、

「技能をみがく」「アクティブ公民」「先輩たちの選択」などの特設ページやコラムに工夫がされており、生徒が段階的に取り組み、対話的で深い学びにつなげるのに役立つつくりになっていました。次に【日本文教出版】は理解を助けるコラムやコーナーも豊富で、理解を深め、対話的な活動に取り組むのに役立つつくりになっていました。次に【自由社】は「もっと知りたい」「ミニ知識」などのコラムの高度なものも含まれていますが、充実している内容になっていました。次に【育鵬社】は「学習を深めよう」のコラム欄や「やってみよう」の作業学習が充実して、生徒が基礎的・基本的な技能を身につけるだけでなく、学習を深めていくのに役立つつくりとなっていました。説明は以上です。

○園田教育長 ご意見、ご質問はありますか。

○尾関教育委員 意見ですが、公民では多角的な意見を考えることが重要だと思います。教科書によってはメディアリテラシーのところで、「メディアは政治だ」という表現がありましたが、そういう一元的な捉え方はおかしいと思います。メディアは、バランスをとって世論から全て社会のことを考えていくものですから、多角的に物事を考えていくという構成になっている教科書を選びたいと思います。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。

○馬場教育委員 特別に公民に限ってということではなくて、本当はもう少し後のところで話をさせてもらおうと思ったことがあります。ちょうどここで「生徒に親しみやすいイラスト」「キャラクターが少ない」という説明が委員長からありました。社会だけではなく、技術家庭や英語などにも、子どもの見やすさのためにイラストを使うのは賛成ですし、とても見やすくなっていると思います。ただし、イラストがキャラクター的と言いますか、いわゆるアニメっぽいというか、萌えキャラほどまではいかないのですが、目が異常に大きくて、女性の体をちょっと強調したりとか、そういう必要があるのかなと思います。子どもが親しみやすいところに寄り添っていくべきですが、教育的見地から見たらその必要があるのかと、今回の見本本を見てすごく思いました。子どもの表情や会話的な表現を描くときに、そういうところは要らないのではないかと保護者としてはすごく思っています。とてもひどいというわけではありませんが、日本はアニメが主流であり、クールジャパンとも言われていますが、子どもの親しみやすさに教育が寄り添うということは、教育的観点からすると、保護者としては必要ないとすごく感じています。違和感を覚える教科書が何点かあり、この社会科

の場合でも小さなイラストではありますが数としてはかなりあり、保護者としてはその辺りを考えさせることが多かったです。

- 園田教育長 例えばどのイラストが気になるとかありますか。
- 馬場教育委員 社会科で言えば細かいところですが小さな会話のイラストであったり、ほかの教科の場合ですと、ただ男の子と女の子が会話をしているようなものでも、特に目が大きかったり、目の中に星があるとか、そういうイラストが社会、技術家庭、特に英語に多く、国語には見られませんでした。考えさせるやりとりの中や対話の場面に割と出てきますが、そのイラストでなくても十分かと思います。子どもたちはそういうものに引かれるかもしれませんが、そこは大人たちが寄り添っていくところではないと思います。アニメ的なものをいい部分で使うのはいいとしても、ロリコンぽい絵などは保護者としては生理的に受けつけられないとすごく感じたので意見として言わせていただきます。
- 園田教育長 出張委員長に伺います。調査委員会の中でイラストの扱いをめぐって何か意見が出たような、そういう経緯はありますか。
- 出張委員長 具体的にはあまり出ませんでした。委員が言われたようにイラストについては捉え方がいろいろありますが、これだけ映像がよくなってきていますので、写真が使えるのであれば写真の方がいいという意見はありました。
- 園田教育長 分かりました。
- 馬場教育委員 歴史についてですが、山川出版社はキャラクターの使用が少ないと書かれています。むしろほかの資料で補っているのがそこがキャラクターではなくていいと思います。キャラクターが少ないからといって、子どもが興味ないで切り捨てると考えるのは大人の視点としてどうなのかと思います。
- 園田教育長 分かりました。そのほかいかがですか。ほかになれば、採択に入らせていただきます。
- 栗岡教育総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

- 栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。東京書籍2票、教育出版3票です。
- 園田教育長 よって「公民的分野」は「教育出版」となりました。

〔地図〕

- 園田教育長 次に「地図」の説明をお願いします。
- 出張委員長 選定調査委員会の資料の26ページをご覧ください。

初めに「東京書籍」及び「帝国書院」に共通することについて説明します。地図の活用や写真や図などの資料の読み取りについて、具体的な活用例を示してありました。ICT機器の活用や主体的に学ぶ資料が提示され、興味・関心を引き出す工夫がされていました。世界、日本とも一般図、全体の資料、統計資料と教科書の単元に即して大きく構成されています。全体的な諸課題を捉える箇所が設定され、主体的に学べるよう構成されていました。明るく濃い色調で全体的に見やすい配慮がされています。地図の見方や視点について、多様な工夫がされています。各地図で位置関係が分かるように、地球儀や日本地図による位置図を掲載していました。索引が充実しており、地名のほかに関連事項も探しやすくなっています。

それでは続いて、それぞれの教科書の地図の特徴を説明します。

【東京書籍】です。キャラクターの発問を活用することで資料を読み取る視点を示し、考察を深めるような工夫がされています。資料だけでなく写真資料も多く扱っています。AB版で重量がありました。次に【帝国書院】です。資料が豊富で大きく見やすいものでした。

また、衛星写真があり、イラストを多く使っていました。鳥瞰図が充実していました。A4版で軽量化が図られていました。説明は以上です。

○園田教育長 ご意見、ご質問はいかがでしょうか。

○尾関教育委員 地図を利用する上ではどのような使いやすさの工夫がありますか。

○出張委員長 ありがとうございます。「東京書籍」でインデックスが大きく色分けされているため、地図や資料を探しやすい工夫がされていました。また、地理的分野はもちろんのこと、歴史的分野及び公民的分野でも使用できるような工夫が充実していました。「帝国書院」はQRコードの資料や鳥瞰図が充実しており、生徒が主体的に学べる工夫がされていました。また、「地図活用」では教科書と同様に生徒が主体的に学べる工夫がされており、「地図活用」で教科書同様に生徒が主体的に学べる問いが設定されていました。

○園田教育長 いかがですか。

○尾関教育委員 意見ですが、地図は頭の中で思い浮かべることが大事だと思います。頭の中で日本のいろいろな地域や国際的ないろいろな国を思い浮かべることから、本当のグローバル化という点が養われるのではないかと思います。なので、地図というものは大きくて見やすい、使いやすい、覚えやすいという点が必要だという観点から選びたいと思います。

○園田教育長 そのほかいかがでしょうか。

○馬場教育委員 尾関委員と似た意見です。両方とも見やすいという点ではとてもよくできていると思いました。「帝国書院」の中に描いてある小さな絵や地図の中にあるお寺だとかが自分の頭の中でイメージしたものと、その国の土地柄や特徴とぴったり合うという感じがあり、記憶に残りやすくていいと感じました。

なお、これだけ教科書の大きさに違いがあると大きさの違いに目が行ってしまいますが、国語の「書写」とは違って地図は直接大きく広げて見るものであり、お手本に別の紙に書くといった形ではなくそれだけで単一で使うのですから、むしろ地図の場合は大きくてもいいのではないかと思います。ですが、見やすい地図ということが大切なので、大きさではなく考えたいと思います。

○園田教育長 ほかにはいかがでしょうか。では、採択に入らせていただきます。

○栗岡教育総務課長 それでは投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。帝国書院5票です。

○園田教育長 よって「地図」は「帝国書院」となりました。

【数学】

○園田教育長 次に「数学」に移ります。説明をお願いします。

○出張委員長 選定調査委員会の資料の28ページからです。初めに、新学習指導要領に示された教科の目標についてお伝えします。「数学」については「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。」とあります。次に、各教科書の説明日本入ります。

先ず【東京書籍】です。「章の問題」はA、Bの難易度別になっています。「めあて」から「まとめ」までの流れが明確で、活動の流れが分かりやすく工夫されていました。学習内容を線分図や面積図、表など視覚的に示す工夫もされています。問題解決の家庭を重視した数学的活動を行う場面がほとんどの章にありました。問題ごとにコメントやヒントがあり、ポイントが分かりやすく、学習活動が進めやすい工夫がされています。次が【大日本図書】です。生徒が興味・関心もてるような導入の工夫がされています。「めあて」から「まと

め」までの流れが明確であり、活動の流れが番号で示されていました。問題は難易度順に示されています。問題解決に向け多面的な考察ができるようなコメントの工夫がされています。数学的な活動が見通せますが情報過多の面もあります。次に【学校図書】です。まとめの問題は「基本」「応用」「活用」に分かれていました。生徒が興味・関心をもてるような導入の工夫もされています。イラストや図を使用することによって、イメージしやすい工夫がされていました。演習量は豊富ですが、難易度により問題量にばらつきが見られました。学習活動が進めやすい工夫がありますが、注目すべき点やポイントが少ないように思われます。次に【教育出版】です。章の学習に先立ち、復習のページがありました。「Let's Try」の内容は、生徒が興味・関心をもてるものとなっています。言葉や文章が多く、イラストや図が少ないです。また、1ページ当たりの情報量も多いような状態でした。活動の流れは分かりやすく示されています。カラー写真資料やヒント、コメントがあり活動が進めやすいものになっていました。次に【啓林館】です。各問題は難易度順に示されていますが、「学びを身につけよう」では難易度が分かりにくいところがありました。「とびら」から「ふりかえり」までの基礎的・基本的な内容と自学・自習用の問題や探究課題が区別され、統一されていました。身の回りの問題について数学的に捉え、数学的に表現・処理する力の育成を図る工夫がされています。データや図の量が多めで、問題がやや高度であると感じました。文章は理解しやすいように意味改行されています。次に【数研出版】です。章の学習に先立ち、復習のページがこれにもありました。導入は復習を扱っているため、興味・関心を十分に引き出せない面もありました。また、難易度が高い導入もありました。イラストや図の使用により、イメージしやすい工夫がありました。基礎的・基本的な問題が少ないです。多様な意見が出るように様々な角度からコメントが示されており、学習活動を進めやすい工夫がありました。次に【日本文教出版】です。章ごとのまとめ問題は難易度別に構成されています。年代の古い資料や関西圏に関する資料が多く、興味を十分に引くものではないと感じました。イラストは少なめです。また、図はイメージしにくいものがありました。基本の問題等についてはつまづきを防ぐ工夫があり、学習活動を進めやすいようになっています。数学的活動を見開きで見通せますが手だてが丁寧に示されているため、思考力の向上に適していないと感じました。

冒頭で申し上げましたが、「新学習指導要領 数学編」における教科の目標で示されている「数学的活動」とは、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見出し、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行すること」を示しています。選定調査委員会では、東久留米市の子どもたちの実態を踏まえ、数学的活動における問題発見・解決の過程を有効に行えるのは、総合的に見ると「東京書籍」または「大日本図書」が適切なのではないかという方向で話が進みました。説明は以上です。

○園田教育長 ご質問、ご意見はいかがですか。

○宮下教育委員 数学は、子どもの理解に大きな差が出る教科ではないかと思えます。これは昨年の小学校の採択の際にも同じことを質問させていただきましたが、本当に、子どもたちの学力の差がどんどん開いていくのではないかと感じています。確かな理解が得られないまま次から次へと進んでいきます。分からないまま分からなくなるとまた分からなくなる。そのような特色が出てくるのが数学だと思いますし、東久留米の子どもたちの場合もそのことについては特に留意しなければいけない点です。

平成30年12月3日に開催された第12回教育委員会定例会と令和元年12月2日に開催された第12回教育委員会定例会において、指導室から、東京都の児童・生徒の学力向上

を図るための調査結果についての報告がありました。東久留米市の子どもたちの算数、数学の読み解く力に関する内容については、東京都平均よりも小・中学校とも低い状況でした。特に解決する力については約6ポイントの差が見られました。また、数学的な考え方、技能について課題が見られ、正負の数の除法と等式の変形については東京都の平均から7.5ポイントも下回っていたことが報告されました。このような状況を打破するには、主たる教材の教科書の活用の工夫と指導法の研究が重要と考えます。特に、どの習熟の程度の子どもにも学習しやすい内容の教科書であるかどうかの観点が必要かと思いますが、お気づきの点があればお話ししたいと思っております。

○出張委員長 どの子の習熟の程度に合わせることはとても大事だと思いますので、説明させていただきます。数学の基礎的・基本的な学習内容を定着させるためには、練習問題の難易度が順を追って上がっていくような配列になっていること、適切な問題量であることが重要だと思います。このことによって理解を段階的に深めたり、習熟度別指導を行う際に対応しやすい作りであることにつながるのではないかと考えています。また、数学に興味を持たせるといふ点では、実社会や他教科とのつながりを重視していることも大切なのだろうと思います。どの習熟の子どもにも学習しやすい構成内容となっているのは、そういう面では「東京書籍」「学校図書」「日本文教出版」であると思っております。「大日本図書」は個に応じた指導が行なえる配慮がありました。「教育出版」は文章量が多くありました。「啓林館」「数研出版」はやや問題の難易度が高度であり、習熟の程度が十分ではないお子さんには向いていないのではないかとということが分かりました。

○園田教育長 いかがでしょうか。

○宮下教育委員 それでは意見を述べさせていただきます。各社ともどの習熟の子どもたちにとって学習しやすい構成や内容であること、また、適切な問題の量であることへの気づきを語っていただきました。ありがとうございます。やはり大切な基本は、理解してから次のステップに進むということです。分からないことがあれば振り返りや繰り返しが大切です。東京都教育委員会は分析した「教科書調査研究資料」のデータを各教育委員会に送付してします。東久留米市教育委員会事務局はそのコピーを教育委員全員に配ってくれました。こんな分厚いもので、約524ページもあります。それをわれわれ教育委員に配ってくれました。私はこれが自宅に届いた時に、市教育委員会事務局が教科書採択に向けて、生徒の学力向上に期待する熱い思いを強く感じたところです。

その資料を拝見するとこんなことが書いてあります。数学科の調査項目の具体的な内容に、「生徒の学習を確実なものにするためには新しい内容を指導する際には、既に指導した関連する内容を意図的に再度取り上げ、学び直しの機会を設定することの配慮をすること。」。それが調査項目の中に書いてありました。まさにこの既習事項を再度取り上げ、学び直しをすることがとても重要だと思います。これこそ東久留米市の子どもたちのために重点にしないければいけないということがこの資料にも書いてあった気がします。

その意味を考えながら教科書をつぶさに見ていきますと、「振り返りと数と式」「振り返りと数量関係」「振り返り図形」「振り返りデータの活用」という項目が第1学年から第3学年まで、どの学年にもそのような項目が書いてある教科書がありました。ここにあるのがその教科書です。振り返りの観点が全部そこに書いてあります。こんなことが書いてあります。どんなことが分かったのかを常に単元が終わるごとに、小さい文字ですがきちんと指示してあります。ということは、必ず分かったかどうかを確認してから次に進むとしているこの教科書、「学校図書」ですが、これは素晴らしいと感じました。これは1年生の教科書で

すが、2年生も3年生のも全て同じようなことが書いてありました。私は、その意味において、東久留米市の子どもたちにふさわしいのではないかと感じました。

昨年、教育委員会においも同じことが論議されました。スモールステップによる確かな学力の形成の確認が、中学校では既習学習の学び直しという思考作用、すなわち振り返りによる学力の確かな形成であると思います。東久留米市の子どもたちの学習の定着と学力向上という課題解決に、この教科書は大いに期待できるのではないかと感じました。

○園田教育長 ほかにいかがですか。

○細田教育委員 事象を数理的に捉えるということは、中学生にとってなかなか難しいかと思っています。数学ではありますが、文章からだけでなくイラストや図などの視覚情報から、子どもたちが事情をイメージしやすい教科書があるといいかと思いますがどうでしょうか。

○出張委員 ありがとうございます。事象を捉える形でどんなものがあるかということですが、「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「啓林館」では、単元の導入に興味をもてるような内容を用いて工夫してありました。また、イメージがしやすいように「東京書籍」「学校図書」「啓林館」「数研出版」ではイラストや図などを使うことで工夫してしました。

○細田教育委員 小学校の算数の学習の段階で、数学的な思考をすることに苦手意識がある子どもも多いと思います。少しでもそれを払拭できる工夫があればと思います。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。それでは、採択に入らせていただきます。

○栗岡教育総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。東京書籍1票です。学校図書4票です。

○園田教育長 よって「数学」は「学校図書」となりました。

〔理科〕

○園田教育長 次は「理科」の説明をお願いします。

○出張委員長 初めに、新学習指導要領に示された教科の目標についてお伝えします。「理科」については「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

次に、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料の35ページをご覧ください。

先ず【東京書籍】です。科学史等の難しい内容は漫画で学習できる工夫をしていました。写真やイラストについては大きさや場所が的確で、必要なものがきちんと厳選されています。実験での使用器具は本市各中学校の現有の備品で進める内容になっていました。次に【大日本図書】です。基本と応用のバランスがとれていますが、資料はイラストでの提示が多く、実験の説明は丁寧さに欠けるように思われます。話し合い学習がしやすいように、考えのポイントや疑問点を多く取り上げている工夫がありました。実験での使用器具は本市各中学校の現有の備品で進められる内容となっています。次に【学校図書】です。「問題発見」のページは、実生活に関する内容を扱っており、興味・関心を引くものになっていました。教材や資料は正確であり、写真やイラスト、図、操作方法等が順序よく整理されて、イメージがしやすい工夫がされています。実験での本市中学校の使用器具との違いについては身の回りのものを使うので、対応可能であると思います。次に【教育出版】です。「基礎技能」のコラム等は、基本的な内容をきちんと捉えています。単元は基礎知識を得た後に思考する構成となっているため、課題意識をもって学習しにくいところがあります。実験での使用器具は、

本市中学校の現有の備品で進めることが可能なものでした。【啓林館】です。実験については仮説が示されており、思考する機会が少ないように思われます。写真やイラストが多過ぎまして、読み取る力を伸長させるには不向きかと思えます。実験での使用器具は新たに購入が必要なものが一部ありました。

理科は自然の事物・現象を学習の対象とする教科ですから、冒頭で申し上げましたが、「新学習指導要領 理科編」における教科の目標で示された「自然の事物・現象に関わり」については、生徒が主体的に問題を見出すために不可欠であり、学習意欲を喚起する点からも大切です。この点について東久留米市の子どもたちの実態を踏まえ、選定調査委員会では、総合的に「東京書籍」または「学校図書」が使用に適切なのではないかという方向で話し合いが進みました。説明は以上です。

○園田教育長 ご意見、ご質問いかがですか。

○宮下教育委員 学習指導要領の改訂においては自然の事物・現象に進んで関わり、理科の見方、考え方を働かせて見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究する資質・能力を育成することが求められています。私が今あえて、ゆっくり読んだり、文章を切ったりしたのは、新しくこの目標が変わってきたものですので、そのことを理解しながら話をしなければいけないかなと思ひまして、お話をさせていただきました。

その資質・能力というのは科学的に探究するために必要な技能と、科学的な探究力と態度です。科学的に探究する学習を達成するという観点から調査した中において、お気づきの点があればお話ししていただきたいと思ひます。

○出張委員長 問題解決型の学習過程づくりについては、各社とも工夫をされていると思ひました。例えば「東京書籍」では各章が問題発見から始まりまして、暗記ではなく理解を促す構成・内容・表現となっていました。また、「学校図書」ですが、この時間の課題が設定されており、また、各単元を学習することでどのような力が身につくのかなどが詳しく記載されている内容になっていました。

○宮下教育委員 私の意見を述べさせていただきます。委員長からは、各社とも探究の過程については問題の発見から始まり、探究過程が明確になされているとお答えをいただきました。この探究の過程については小学校も中学校も全く同じプロセスです。さらに、高等学校も同じプロセスをとっています。高等学校の理科編の解説書にも小中高とも同じものが書いてあるのが現状ですので、関心のある方は見ていただければと思ひます。

昨年の小学校の教科書選定の時にも話をさせていただきましたが、この探究の過程の問題が自分事として解決しようとしているのか、主体的なものになっているかが資質・能力の形成に大きな影響を与えていると考えています。数学の採択の時も話をさせていただきましたが、東久留米市の児童・生徒の学力向上を図るために、調査結果の理科をみますと、小・中学校とも東京都の平均よりも低い状況にあります。とりわけ、思考、判断、表現、技術には差が生じています。技能については約6ポイントの差が出ていることがありました。平成30年ですから、令和元年の調査では少しずつ改善が見られてきたことはとてもうれしいことですが、さらにこの状況を改善するためには探究するために必要な観察、実験の技能を身につけさせる際に、科学を学ぶ楽しさや有用性を実感させることが大切と考えます。

私はかつて、東久留米市教育委員会が設置した小中連携カリキュラム委員会の理科分科会に学識経験者として参画し、中学校の先生方と論議を重ね、小中学校の接続のポイントの重点化を図ったことがありました。また、東京都の理科推進事業において、東久留米市13校全学級の小学校の担任の先生方が行っている理科授業を複数回観察し、担任の先生と1対1

で授業の改善を一緒に考えてきました。問題解決のパターンに子どもを当てはめていた授業から、子どもの持っていた問題を子どもが考えて解決する授業へと改善を図ってきました。さらに現在は形を変えて私が授業者になり、小学校において科学体験授業、通称「サイエンスドラゴン」と言っていますが、全ての学校で行っています。その理科授業観察、科学体験授業の経験から東久留米市の理科の学力向上を図るためには学ぶ楽しさ、有用性の実感を味合わせることが大切であると考えています。その意味からして、中学校においてもややもすると探究の過程に当てはめた教師主体の授業が見られますが、その授業からの脱皮が必要であると強く感じています。小学校で学習した思考の連続性、学びのつながりから、現在、小学校で採用されている「大日本図書」がそのまま中学校でも採用されることが適切と実感しています。

さて、私の手元を見ていただけますか。美味しそうな「どら焼き」があります。本当はここで食べたいところですがそのために持ってきたわけではありません。封を開けますと必ずこういうものが入っているのが分かりますね。必ず一つずつ入っています。よく見ると「エイジレス」と書いてあります。エイジがレスですから、年をとらない。ということは、中身がもつという意味ですね。そのように、これを入れることによってこのものの賞味期限が長くなるということです。ではこれは何でできているのでしょうか。皆さんの多くは乾燥剤だと言います。家内にも話したら「乾燥剤でしょ」と。でも違います。ご存じでしょうか。これに磁石を付けたら付くわけです。ということは何だかもうお分かりになりますね。多分、子どもたちは小学校で学習したことから推測して何だということは分かります。

では、続いてこれはどうでしょうか。カイロです。これも磁石にくっつきます。ではカイロと乾燥剤には何が入っているのだろうか。予測できます。当然、鉄が関与しているのだろうと。では鉄が関与しているとなぜ長持ちするのだろうか、なぜ温まるのか。カイロは開ければ空気中の酸素と反応するのか。鉄と酸素の反応か。もしそうならばどのぐらいの酸素の量とどのぐらいの鉄の量によってどのように反応するのだろうか。このように子どもたちは学習課題を持っていくのではないのでしょうか。そのように課題を持つことによって、初めて子どもたちの探究の過程が成立していくと思います。それを教師が問題、予想、仮説、実験計画、実験、一つのパターンの中に入れて授業をし、あたかもその探究の過程を追っているように見えます。これまで子どもたちは先生に当てはめられたパターンの中に入っている授業が小学校でも中学校でも多かったのではないのでしょうか。

私はそれを変えていかなければいけないと強く思っています。身近にある物の中から不思議さを追究し、科学の有用性を感じさせることができるならば、とても素晴らしいことだと思います。そのような授業改善に私は実際に授業を行いながら取り組んでいます。

○園田教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

○馬場教育委員 どの教科書も実験や観察について写真があり、説明文も丁寧で、イラストも入っていてとても見やすいと思いました。実際に体験的な学習ができることで、実験や観察が面白くて理科を好きになる子どもは多いと思います。実際に宮下先生が見せてくれたのを見ると、子どもも大人もとても興味が引かれますし、「理科」というと嫌いだとしても、理科の実験や観察は面白いと思っている子どもたちは多いと思います。結果的には、その後、覚えることが多かったり、記号を暗記しなければいけないこともあって、理科は好きだけれども苦手という子どもが多くなってしまわないかと思っています。

宮下先生がしてくださったように、理科の授業を分かりやすく楽しければ主体的に学んでいき、理科が何となく好きという段階から、科学的に探究する力がついていくことを支え

ていける教科書だととてもいいなと思います。「何となく好き」から、きちんと探究し、「ああ、こういうことが理科なんだ」ということが分かるように子どもたちが理解し、その後、意味を考えて必要な暗記もするような教科書を選びたいと思いました。

○園田教育長 そのほかいかがですか。なければ採択に入りたいと思います。

○栗岡教育総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。東京書籍 1 票です。大日本図書 3 票です。学校図書 1 票です。

○園田教育長 よって「理科」は「大日本図書」となりました。

〔音楽(一般)〕 _____

○園田教育長 次に「音楽」の説明をお願いします。

○出張委員長 「音楽」について説明します。初めに、新学習指導要領に示された教科の目標についてお伝えします。「音楽」については、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

次に、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料の 40 ページをご覧ください。

「教育出版」と「教育芸術社」の 2 社があります。共通点について説明します。「教育出版」「教育芸術社」のいずれも写真、資料やイラストを多用しており、生徒の興味を引く工夫がされていました。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを用い、分かりやすさへの工夫がされていました。次に【教育出版】です。中学校 3 年間の教材の情報量や内容について、発達段階の配慮が感じられるものでした。一方、系統性にやや欠ける点があり、教材の飛躍や題材の重複が見られる部分がありました。紙面構成においては左ページと右ページの内容が異なっており、生徒が学習活動する際に扱いづらいところがあります。写真よりイラストを多用しており、生徒の実生活からはイメージしにくいものであると考えます。次に【教育芸術社】です。全体的に写真と資料が適切に用いられており、見やすく、生徒が実生活と関連づけた具体的なイメージをもって取り組みやすいものになっています。学習活動が順序だてて丁寧に表示されており、そのまま授業に活用できる構成になっています。「音楽科」の特性を考慮し、使い勝手の良い製本(譜面台に載せて使う際に使いやすい綴じ方)、楽譜のレイアウトになっていました。説明は以上です。

○園田教育長 ご意見、ご質問はいかがでしょう。

○宮下教育委員 音楽科の目標は「表現及び幅広い活動を通して音楽的な見方や考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を育成する。」と書いてあります。音楽科では、従来から音楽の良さや楽しさを感じたり、思いや意図を表現したり聴いたりして、生活との関わりについて関心をもって音楽文化に親しんできたと思います。また、感性を働かせて他者と協働して音楽表現を生み出したり、音楽を聴いたりして、その良さや価値等について考えたり、日本の伝統文化に親しんだりしてきました。今回の改訂においてはこれらの成果の上にさらに曲想や音楽の構造、その背景、音楽の良さや美しさ、音楽活動の楽しさについては体験を通して音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことが求められています。改訂のねらいに即して歌唱や器楽の教材として扱われる内容が適切かどうかの検討がなされたと思います。お気づきの点があればお答えいただければと思います。

○出張委員長 ありがとうございます。歌唱教材や器楽について検討しましたので報告させていただきます。B の鑑賞における学習内容の改善・充実が求められているという認識を持ち

まして、楽曲数について着目して話し合いを行いました。音楽（一般）については、「教育芸術社」は「教育出版」よりも器楽教材の曲数は少ないのですが、歌唱教材・器楽教材の合計数としては多く扱っているところが見られました。また、わが国の郷土の伝統音楽についての曲数も多く扱っている点が特質です。「教育出版」では鑑賞と歌唱を融合させた教材構成がされていること。「教育芸術社」ではわが国や郷土の伝統音楽について鑑賞・歌唱をリンクさせながら学習できるような配列となっており、それぞれが特色を出しています。

説明は以上です。

○園田教育長 宮下委員いかがでしょうか。

○宮下教育委員 楽曲数に着目して調査したというお話がありました。そうすると先ほど見せた教育委員会の分厚い資料ですが、そこでの調査結果を見ても大きな差が出ていると思います。2社ありますが鑑賞の教材の数を比較してみますと「教育出版」が71、「教育芸術社」が116という大きな差がありますが、楽曲数に着目しながら調査、研究されたことに感謝を申し上げたいと思います。

○園田教育長 そのほかいかがですか。

○尾関教育委員 写真やイラスト資料の活用についてお尋ねします。実生活と関連づけたイメージの「しやすさ」及び「しにくさ」とはどういうところにあるのでしょうか、具体的にお話しただけたらと思います。

○出張委員長 写真やイラストの持つ実生活と使い方について簡単に説明します。先ず「教育出版」は音楽2、3上の66ページから69ページにおいて、生徒にとって身近なポピュラーミュージックを扱うという工夫をしています。ただし、そのイラストはそのジャンルについてのイメージが広がりやすく、効果的なものとは言えなかったという感想です。「教育芸術社」ではこれも音楽2と3下の58ページから63ページにおいて、同じようにポピュラー音楽では写真やジャンル分けの図及び著作権のこと等を分かりやすく説明している工夫がありました。また、68から69ページにおいても、生活や社会の中の音楽として、写真とともに解説するなどの工夫が見られたという違いがありました。

○園田教育長 よろしいですか。

○尾関教育委員 ありがとうございます。著作権などについて学べることは音楽の単なるテクニックとは違って重要な要素だと思いますので、分かりやすいものを選びたいと思います。

○園田教育長 そのほかご意見はいかがでしょうか。

○宮下教育委員 学習指導要領においては国歌の「君が代」はいずれの学年においても歌えるように指導することとありますが、この扱いについてはどのようになっているかお気づきの点があればご説明をいただきたいと思います。

○出張委員長 「教育出版」「教育芸術社」ともに、君が代の歌詞、楽譜とも全学年で取り上げられていました。また歌詞の大意、細石（さざれいし）の解説なども掲載されていました。また「教育出版」では細石の写真を具体的に取り扱っていました。「教育芸術社」では、国歌・国旗の国際的儀礼の写真を取り扱って、それぞれ工夫をしていました。

○宮下教育委員 ありがとうございます。「君が代」の歌詞及び楽譜については全学年掲載されているということですが、「君が代」が歌われる場面を写真で紹介したり、国歌は国旗と並んでその国を象徴するものとして国際的儀礼の理解にも大いに役立っていると確認させていただきました。そういうことからしますと、「教育芸術社」は「君が代」に必ず国際的な儀式を伴うスポーツの大会などが掲載されています。まさに今はオリンピック・パラリンピックをはじめ、国内外における式典や行事への理解を深めるチャンスだと思いますので、

タイムリーだと思っています。

○園田教育長 ほかにはよろしいでしょうか。よろしければ採択に入ります。

○栗岡教育総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。教育芸術社5票です。

○園田教育長 したがって「音楽(一般)」は「教育芸術社」となりました。

〔音楽(楽器合奏)〕

○園田教育長 次に「音楽(器楽合奏)」の説明をお願いします。

○出張委員長 選定調査委員会の資料の42ページをご覧ください。「音楽(器楽合奏)」について説明します。音楽(一般)と同様に「教育出版」「教育芸術社」のいずれについても、写真資料やイラストを多用しており、生徒の興味を引き出す工夫がされていました。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを用いており、分かりやすい工夫がされています。

先ず【教育出版】です。各楽器を演奏する際の手本の写真を多く用いており、生徒が基礎的な奏法を習得しやすい工夫がされています。目次の色分け等の工夫がなく、曲名からページを探しにくいという難点があります。譜面台に置きづらい綴じ方になっていることや、紙面の譜面の背景やリコーダーの運指のイラストの色合いが暗く、使いやすさ、見やすさの点でやや難点があると感じました。次に【教育芸術社】です。基礎的学習向けの楽曲から発展的学習ができる楽曲まで幅広く扱われていることで、生徒の主体的な学習活動を促す効果のある内容になっていると感じました。各楽器が演奏する際の手元の写真が多く使われており、生徒に基礎的な合奏の習得がしやすい工夫がされています。目次が見やすく、曲名からページを見つけやすいものになっています。音楽(一般)同様、使い勝手の良い製本(譜面台に載せて使う際に使いやすい綴じ方)になっていると思います。説明は以上です。

○園田教育長 ご質問、ご意見はいかがですか。

○宮下教育委員 音楽(一般)と同じ質問です。今回の改訂に関して歌唱や器楽の教材として扱われている内容が効果的なものであるかどうか検討されたと思いますが、その過程においてお気づきの点があればお話ししていただければと思います。

○出張委員長 音楽(器楽合奏)についても、Bの鑑賞における学習内容の改善・充実が求められているという認識のもとに見てみました。楽曲数について着目して話し合いをしました。「教育出版」は「教育芸術社」よりも取扱いの曲数は多くなっています。また、わが国や郷土の伝統音楽についての曲数も多く扱っています。取扱っている楽曲の種類は「教育出版」よりも「教育芸術社」が多くなっています。

○園田教育長 よろしいですか。

○宮下教育委員 教科書に取り上げられている楽器の種類は「教育芸術社」の方が豊富であると説明がありました。東京都教育委員会の調査結果を見ても同様のことを読み取ることができました。2社とも和楽器や諸外国の楽器、また、諸民族の楽器も紹介されています。器楽の学習を通して生活や社会の中の音と音楽に目を向けさせることができる、文化理解にもつながると想定できると思います。教科書は表紙に様々な思いや願いが凝縮されていることにいつも私は感心しているのですが、(ある教科書をかざして)この教科書の表紙を見て、「何でこんなに素晴らしいのかな」と思いました。表紙の絵は多分、音楽室だと思います。音楽室に三々五々集まって、アンサンブルの練習か何か、自分の楽器の練習をしている光景なのでしょう。音楽室にここまで光が差し込んでいるということは、西日が相当奥まで入っ

ているということです。ということはこの時間帯は、私は理科の専門家ですのですぐそういうふうに取り取るのですが、日没間際だと思います。だからこの部屋の奥まで光が入ってくるのです。放課後のシーンだと思います。放課後に子どもたちが楽器をもって音楽活動をしているのではないかと。このようなことを日常の子どもたちの生活の中に取り入れてほしいという願いが込められていると感じ取れましたので、これは素晴らしい表紙だと思います。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。

○尾関教育委員 器楽合奏は学んだことを自分たちで実践できますので、分かりやすい教科書を使うことが有効だと思いますがその点を比較するとどうでしょうか。

○出張委員長 「教育出版」「教育芸術社」とともに、教科書の裏表紙にカラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを採用していることが記載されています。「教育出版」「教育芸術社」とともに領域ごとに色分けしており、さらに「教育芸術社」はテーマ、キーワードごとに色分けをしたりするなど、統一感があり、大変見やすく、分かりやすく構成されていると思います。

○尾関教育委員 演奏しやすい、演奏になじんでいくということが器楽演奏の教科書のポイントだと思っています。子どもたち全員がプロの音楽家になるわけではありませんが、器楽演奏になじんでいくことによって将来に広がっていくと思いますので、そういう観点から教科書を選んでいきたいと思っています。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。

○宮下教育委員 唐突な再質問になるかもしれませんが、何回かお見せしている東京都教育委員会の分厚い資料の中に防災や自然災害に関する項目が、音楽の中にも入っています。

ここ数年、地震や豪雨などによる自然災害が猛威を振るっています。自然災害との関連があれば教えていただければと思います。

○出張委員長 防災、自然災害の関係のことについて説明します。「教育出版」では86ページ、87ページにおいて「千の海響 望の章」というものを取り上げています。2001年に神戸21世紀・復興記念事業「神戸21世紀海響祭」があり、そのために作曲されました「千の海響」を基に、2013年に生まれた曲であることを紹介するなどしています。また、「教育芸術社」は107ページに、神戸市立盲学校の和太鼓部の活動として阪神淡路大震災からの復興を願うコンサートの発表を行っていることを紹介しています。いずれも音楽によって傷ついた心が癒されたり、被災した人同士や被災した人と被災していない人など、人々の心がつながったりすることに触れた内容を盛り込んでいました。

○宮下教育委員 震災からの復興を願って今も歌い継がれている楽曲が掲載されているという事実が分かりました。ありがとうございました。

人々の思いをつないだり、誰かを勇気づけたりする音楽の持つ力の存在を実感させられました。東日本大震災で多くの尊い命が奪われました。まだ行方不明の方がたくさんいます。生まれ育った家や町や景色が失われ、壊滅状態になってしまいました。そのような状況の中で曲にした「花が咲く」がこの教科書に掲載されていました。「真っ白な雪道に春風薫る 私はなつかしいあの街を思い出す 叶えたい夢もあった 変わりたい自分もいた 今はただ なつかしいあの人を思い出す」。歌は続きます。「いつか生まれる君に私は何を残したのだろうか」と。「花が咲く」という言葉に込められた未来に向けた祈り、願い、希望、そして静かに穏やかに前を向いていくことを後押ししてくれる曲ではないかと思っています。人々の心がキュンとなると同時に同じ気持ちに凝縮されていくと思います。私もこの歌が大好きです。いい歌詞にはいい曲がつくものだなということをつくづく感じています。この歌詞を作られ

たのは岩井俊二さんという方です。その弟さんは東久留米市のお隣の街にお住まいで、仕事をされているということです。人の思いのつながりを感じさせられるような気がしています。

東京都では自然災害における被害を最小化し、リスクマネジメント対策を考えています。防災教育の原点として2社にも掲載されている楽曲が歌い継がれ、演奏を続けてほしいと願ってやみません。本当はここで統括指導主事の今野先生が「花は咲く」を歌ってくれる予定でしたが強制しますとパワハラになりますので、ここで終わります。本当にいろいろなジャンルの歌がここの中に全部含まれているなということを強く感じ、音楽活動を日常にしていかなければいけないことを強く感じ取ったところです。

○園田教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしければ、採択に入らせていただきます。

○栗岡教育総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。教育芸術社5票です。

○園田教育長 よって「音楽(器楽合奏)」は「教育芸術社」となりました。

それでは、ここで休憩に入ります。再開時刻は午後1時となります。

(休憩 午後0時01分)

(再開 午後1時00分)

○園田教育長 再開します。

〔美術〕

○園田教育長 「美術」の説明からお願いをします。

○出張委員長 それでは「美術」の説明を始めます。初めに新学習指導要領に示された教科の目標についてお伝えします。「美術」につきましては、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

次に各教科書について説明します。選定調査委員会の資料の44ページをご覧ください。

先ず【開隆堂】です。美術1に大まかな学習内容が記載されており、発達段階における配慮が適切にできています。著名人のインタビュー等を取り入れて興味・関心を引き出す工夫がされています。教材や資料が全体的の4分の1を占めており、非常に充実しています。単元の系統性が「想像の世界を表す」「ポスターで伝える」等、具体的で分かりやすいものになっています。特別支援教育やインクルーシブ教育・カラーユニバーサルデザインに配慮した内容が豊富となっています。QRコードで補足資料にアクセスし、手順や資料を詳しく学習することもできるようになっています。次に【光村図書】です。図画工作から美術への導入が丁寧に解説されており、発達段階に対する配慮が適しています。鑑賞題材が充実しており、インパクトの強い図版や生徒作品を多く掲載して、興味・関心を引きつけるものになっています。教材や資料が全体の4分の1を占めており、道具の使い方や手だてが示されています。単元の構成は題材ごとに表現と鑑賞を併せており、アイコンも工夫して作られています。作品を比べて鑑賞したり、彫刻作品の背景を黒にしたりして、見やすいものになっています。こちらも同様にQRコードは導入時に使用することで理解を深めることができるような配慮がされています。次に【日本文教出版】です。3冊に分かれており、美術1の初めに3年間の見通しが持てる記述がされています。著名人のインタビューや現代作家や生徒作品まで幅広く取り上げまして、興味・関心を引き出すものとなっています。教材や資料が全体の4分の1を占めており、非常に充実しています。原寸大のものもあり、大きく迫力があ

るものが多いと感じました。説明は資料集のように詳しく、記述も多くありました。どの単元にも「絵や彫刻」「デザインや工芸」と記載があり、単元の系統性が分かりやすくなっています。1年生から3年生まで一貫性を持った記述がされており、統一されていると感じました。QRコードはデジタル資料による動画での鑑賞等ができるようになっていました。

今年度までの学習指導要領では、美術においては創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性や美術の創造活動の基礎的な能力を育てること、美術文化の理解を深め、豊かな情操を養うことからなどから目標が示されています。しかし、「新学習指導要領 美術編」では、中学校を卒業したときにどのような資質・能力が身につく、何ができるようになるのかが具体的な姿として分かるよう、生活や社会の中の美術や美術鑑賞と豊かに関わることができる生徒の姿を念頭に置き育成を目指す資質・能力が具体的に示されました。

この点について東久留米市の子どもたちの実態を踏まえまして、選定調査委員会では、総合的には「開隆堂」または「光村図書」が使用に適切などではないかという方向で話し合われました。説明は以上です。

- 園田教育長 ありがとうございます。ご意見、ご質問はいかがでしょうか。
- 馬場教育委員 美術という教科は中学校から学習します。小学校の図画工作からの接続であるとかキャリア教育の視点からの配慮はなされていますか。
- 出張委員長 ありがとうございます。各社とも、小学校の図画工作で学んだ多くのことが中学校の美術がつながっていることを記載していました。特に「光村図書」及び「日本文教出版」の1年生の教科書の冒頭では、3年間の学習の取組が分かりやすいように記載をされています。キャリア教育の視点においても、美術界で活躍する方から、生活や社会の中で生かす美術との関わりを学ぶ内容が盛り込まれていました。
- 馬場教育委員 ありがとうございます。美術界で活躍する方というので、東久留米市の先輩が載っている教科書もあったりですか、教科書の中ではそれぞれに特徴を出していると思いますが、どの教科書も等身大に、さらに大きく見せようとする努力がありますが、印刷のクリアさですとかトーンを見ると、写真が古いというか、トーンが色褪せているという感じの違いが少し見受けられました。

ただし、一つの絵画や一つの彫刻などの作品が人の心に訴えるものがあり、その人の人生も変えることができるようなものもあると思います。私もそういうことがあった一人です。なので、等身大で見せるとか、本物を見せるというのはとても子どもたちに訴えかけるものがあると思います。例えば、どの教科書にもピカソのゲルニカが載っていますが、「光村図書」の見せ方には、もちろん色がとてもいいということもありますが、小さい図柄からぱっと開いて大きく見せるという感覚、質感とか、色合いとか、大きさがとても訴えかけてくるものがあると思いました。また、他の作品でも色などを効果的に使っていて、そういう視点を大切にしたいと思いました。

また、美術というと造形活動や表現の工夫を行うといった印象がありますが、美術そのものや美術文化に対する感じ方を深めることも大事だと思います。QRコードでデジタル資料を見ることができるのはとてもよいと思います。外に行くこともこのご時世ではなかなかできないので活用してほしいと思いますが、キャリア教育の視点を有効に活用して、子どもたちが実際に美術館などに行って本物の作品を見たりできるような授業も行われるといいと思いました。

- 園田教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

- 宮下教育委員 音楽と同じように、自然災害との関連があれば教えていただけますか。
- 出張委員長 自然災害との関係ですが、各社とも3年間の学習の中で東日本大震災に関わるものをはじめ「開隆堂」は10のトピック、「光村図書」では7のトピック、「日本文教出版」では6のトピックを取り上げていました。

○宮下教育委員 各社適切に掲載されていることが分かりました。ありがとうございました。

熊本地震も取り上げられていますね。最も震度の大きかった益城町の教育委員会と一緒に、私は子どもたちに「元気を」のメッセージを込めて、小学校と中学校で理科の授業をしてきました。地震発生からちょうど4か月後ぐらいの時です。多くの家屋が全壊、体育館が唯一の避難所、倒壊した家屋の撤去、その集結場所は町民スポーツ広場でした。たちまち広いグラウンドが廃材の山、至るところに2m以上の断層、阿蘇の外輪山から眺めると永遠に続く断層線が見えました。エネルギーの脅威さと、いつ起こるか分からない災害の恐ろしさをその時に大いに感じたところです。

美術の教科書は様々な震災の教訓を写真やコラム、メッセージ、シンボルマークなどで伝える力を持っていることを強く感じています。各社ともそういったことをインプット、アウトプットをしていますので、とてもいい教科書が作成されていると強く感じました。

- 園田教育長 ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。それでは採択に入ります。
- 栗岡教育総務課長 では投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡教育総務課長 結果を申し上げます。開隆堂3票です。光村図書2票です。

○園田教育長 よって「美術」は「開隆堂」となりました。

〔保健体育〕

○園田教育長 次に「保健体育」の説明をお願いします。

○出張委員長 それでは「保健体育」について説明します。初めに、新学習指導要領に示されました教科の目標についてお伝えします。「保健体育」については、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

次に、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料の47ページをご覧ください。

4社全てにおきまして、便宜上、工夫されている点や環境問題やユニバーサルデザインなどを意識したつくりという点は共通していました。また、教科書に掲載されている文章や資料の分量には大きな違いはありませんでした。

それでは、【東京書籍】から説明します。必要な資料が精選されており、1単位時間無理なく授業を展開できるような工夫がありました。各単元における文章とイラストや図の位置がバランスよく構成されていました。多様性や個人の価値の尊重に配慮がある内容でありました。各項目に「学習課題」を設け、学習の流れである「見つける」「課題の解決」「広げる」の3ステップと合わせた4ステップで分かりやすく構成していました。総合的に見て、見通しを持って指導計画を立てられるような工夫がありました。次に【大日本図書】です。発問の設定や文章の記述等が吟味されており、生徒が主体的に学習できるような工夫がされています。分量は豊富で、単元によっては資料の占める割合が多くなっているところもありました。人権尊重、生命尊重の視点を踏まえた表現や記述となっています。「学習のねらい」から「活用して深めよう」までの流れで学習が進められるよう構成されています。総合的に見て、本文と資料のページが明確に分かれており、生徒が情報を視覚的に捉えやすい構

成となっていると言えます。次に【大修館】です。中学生に関わる健康課題など、コラム等を通じて積極的に取り上げており、興味・関心を引き出せる内容となっていました。情報量は豊富です。単元によっては資料の占める割合が多く、展開しにくい場面も想定されました。固定的なイメージで性を区別しないようにするなどの配慮がされていました。各学習項目を「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3ステップで構成し、学習の流れを明確にしてありました。総合的に見て資料が豊富に掲載されており、各単元についてより深く指導することができると考えられます。次に【学研】です。導入やまとめで生徒の実生活に関わる内容を踏まえるなどの工夫があり、生徒が身近な問題、自分の問題として取り組むことができ、興味を引く内容であると考えます。各単元における本文と資料の割合が適切であり、指導しやすい工夫がされていました。心と体を一体として捉える観点を重視しており、体育分野と保健分野の関連が図られていました。各項目に「まとめる・深める」を設け、学習活動を進めやすいような工夫がありました。また、ヒントを示すことで学習内容を深めたり、実生活に生かしたりするような工夫もありました。総合的に見まして、1単位時間当たりの見開き2ページに、本文と資料の分量、大きさともにバランスよく示されており、様々な授業展開でも扱いやすい工夫となっています。

冒頭で申し上げたとおり、「新学習指導要領 保健体育編」における教科の目標では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを目指しています。この点について東久留米市の子どもたちの実態を踏まえ、選定調査委員会では総合的に「学研」または「東京書籍」が使用に適切なのではないかという方向で話し合われました。説明は以上です。

- 園田教育長 ご質問や、ご意見いかがでしょうか。
- 細田教育委員 記憶違いかもしれませんが、私が子どものころは体育といえば実技が主で、保健とは違ってあまり教科書を使っていなかったと思うのですが、新学習指要領における体育での教科書の活用とはどのようなものなのでしょう。
- 出張委員長 新学習指導要領では改善点の一つとして、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成に向け、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう示されています。各社とも「生涯にわたって活かせること」について考えられる点、教え合い、学び合い活動ができるような指示や表示が記載されるとともに、生徒の実体験に基づいた内容や図、資料で構成されていました。
- 細田教育委員 ありがとうございます。どの教科においても教科の特性に即した表現が重要であると考えますが、保健体育の場合はどのような配慮が重要ですか。
- 出張委員長 保健体育では性に関することや、精神面の安定につながることに触れるので、個人差があることの説明や、人権尊重、生命尊重の視点を踏まえた表現・記述・イラストの工夫が重要です。
- 園田教育長 細田委員よろしいですか。
- 細田教育委員 悩んでいる子どもにとっては、とても繊細に取り扱わなければならない問題だと思います。教科書の中で直接的に触れるべきかどうか、慎重に考えたいと思います。ありがとうございました。
- 園田教育長 ほかにいかがでしょうか。
- 尾関教育委員 指導要領が変わったということで、これまでの教科書と大きく変わった点はどこでしょうか。

○出張委員長 ありがとうございます。今回の学習指導要領の改訂に伴い、各学年で学習する内容が変更されたことによる変更点がありました。また、学習の流れや考えるヒントが明確に示されている点や、本来ですと今はオリンピック・パラリンピックが行われているはずだったのですが残念ながらコロナにより今年度は開催されませんでした。オリンピック関連の写真が増えている点が挙げられると思います。

○尾関教育委員 オリンピックについても課題解決学習ということになるかもしれませんが、大いに教科書を使って活性化することが大事だと思いますので、そういう点から採用していきたいと思います。ありがとうございます。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。それでは採択に入ります。

○栗岡総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡総務課長 結果を申し上げます。東京書籍1票、大日本図書1票、学研3票です。

○園田教育長 よって「保健体育」は「学研」となりました。

〔技術〕

○園田教育長 次に「技術」の説明をお願いします。

○出張委員長 初めに、新学習指導要領に示されました教科の目標についてお伝えします。

「技術・家庭」については、「生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とあります。特に、技術では「技術の見方・考え方を働かせ、物づくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とあります。

次に、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料の51ページをご覧ください。

先ず【東京書籍】です。生徒の発達段階に合わせて問題解決に取り組めるよう、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く掲載しています。教科書に掲載されている「技術の匠」や「考えてみよう」など、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされています。多様な「問題解決例」を数多く取り上げ、座学と実習のバランスを考慮しながら、実践的・体験的な学習活動を行えるような工夫がされています。本文は特定の事項・事象・分野などに偏ることなく、全体として調和が取れていました。一貫性を持った記述及び教科の特性に即した表現の配慮は十分にされていました。生徒が主体的に問題解決に取り組むことができるように、豊富な問題解決例を取り上げています。プログラミングの題材は豊富で分かりやすく提示されていました。他教科との関連により、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりすることができるものとなっています。なお、イラストや写真が細かなところに詰め込まれ、全体の構成を見づらくしている点がちょっとありました。用紙・印刷は全体的に薄く、全ての生徒が色の違いを認識できるか若干懸念が持たれるような内容となっていました。次に【教育図書】です。生徒の理解度や興味・関心に応じて積極的に学習を進められることができるよう、発展的な学習の内容にマークが表示されていました。「すご技」や「技ビト」のコラムを取り上げ、生徒が生活の中にある技術に興味・関心が持てるような工夫もされていました。大きめの写真や図版を多く用い、作業工程を丁寧に分かりやすく説明しています。基礎的・基本的内容から、工夫を凝らした応用・発展的な内容へと系統的な配列がされています。情報量はとても多く、適切な分量とは言えないのではないかと思います。文字の大きさや色彩が工夫されており、要点を捉えやすい工夫がされています。専門用語にする

注釈、重要な語句に対する太字表示などの工夫もされています。「振り返る」では作るだけに終始するのではなく、学んだ意義や必要性を実感できるような記述があるなど配慮されていました。作業工程を丁寧に示しており、見通しをもって取り組めるような配慮があります。「こつ」「注意」が表示されており、学習を支援する工夫もされていました。章末には、「まとめ」など学習したことの振り返りについての記載があります。ユニバーサルデザインに配慮して、可読性の高い文字の書体や大きさでの表記による読みやすい工夫もされた教科書でした。続いて【開隆堂】です。生徒の生活経験や発達段階に十分考慮して範囲や程度を定めていました。各内容では具体的な製品から仕組みなどを考えるような工夫があり、全体的に見やすく、興味・関心を引くものと言えます。資料も正確に記されていました。全体として、内容は発展的に組織されており、分量や配分は授業時数や多様な指導計画などに適応できるような配慮もされています。本文は特定の事項・事象・分野などに偏ることなく、全体として調和が取れています。これからの技術について考えさせるような話題を取り上げており、将来的にも技術に関心や問題意識をもてるような工夫もされています。また、プログラミングに対する本質的な理解を図るための「基礎・基本」と「問題解決」のバランスも取れていました。作業時の手順や方法を表にまとめ、写真やイラストを用いて記述もされています。章末には「学習を振り返ろう」「学びを深めよう」などの学習したことの振り返りや、その活用についての内容やチェック欄の記載なども作られていました。QRコードの活用による動画教材など、様々な実態に応じた学習方法の工夫ができるようにされていました。

冒頭で申し上げました、「新学習指導要領 技術・家庭編」における教科の目標のうち、技術分野の目標を達成するためには、これまで開発された生活や社会で利用されてきた技術について、その仕組みと関係する科学的な原理・法則を理解するとともに、それらに関わる技能の習得を図ることが重要です。

この点について東久留米市の子どもたちの実態を踏まえ、選定調査委員会では、技術・家庭を総合的に見まして「開隆堂」または「教育図書」が使用に適切なのではないかという方向で話し合われました。説明は以上です。

- 園田教育長 ご質問、ご意見いかがでしょうか。
- 細田教育委員 近年の環境保全が重視される中、持続可能な社会を築くことが課題として挙げられています。エネルギーについても学習する技術では特に大切な学習内容になると思いますが、それぞれの教科書ではどのように扱われていますか。
- 出張委員長 ありがとうございます。持続可能な社会のことです。各社とも持続可能な社会の実現についての記載があります。それに向けた組みに触れ、持続可能な開発目標（SDGs）が目指す社会の実現のために行うべきことについて順を追って記載するようになっていました。特に「教育図書」では、他教科、社会、理科、保健体育、家庭と関連をつけながら記載もされていました。
- 細田教育委員 科学技術や製作だけでなく、環境についても段階的に学習できることが分かりました。ありがとうございました。
- 園田教育長 よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。
- 馬場教育委員 技術では物づくりなどの実習や観察・実験、調査等を行って学習することが特徴かと思いますが、実践的・体験的な活動について教科書ではどのくらい取り扱っているのでしょうか。
- 出張委員長 「東京書籍」では39事項、「教育図書」では36事項、「開隆堂」では26事項の扱いがありました。教科書を通して物づくりなどの技術に関する実践的、体験的活動

を取り上げることができると考えられます。

- 馬場教育委員 ありがとうございます。実体験でそういうことをした上で、今後は新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、文部科学省でも学校教育の情報化の推進が加速されていると聞いています。技術の授業においても私たちの時代にはなかったようなプログラミング教育とか情報モラルセキュリティーなどが入ってきて、ますます重要性は高まっていくと思います。

知的財産の保護や活用なども含めて、子どもたちが社会に出てから困らないように、教科書と実際の作業とのバランスを指導していただければと思いました。ありがとうございます。

- 園田教育長 ほかにはよろしいでしょうか。それでは採択に入ります。

- 栗岡総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

- 栗岡総務課長 結果を申し上げます。教育図書2票です。開隆堂3票です。

- 園田教育長 よって「技術」は「開隆堂」となりました。

〔家庭〕

- 園田教育長 次に「家庭」の説明をお願いします。

- 出張委員長 「家庭」です。初めに、新学習指導要領に示された教科の目標のうち、家庭分野の目標についてお伝えします。「家庭」では「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

次に、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料の54ページをご覧ください。

先ず【東京書籍】です。「自立と共生」を基にAからDまで四つの内容ごとに目次に示されていますが、ガイダンス時の内容が不足していること、最初に扱うA(1)が教科書配列において後ろにあたりして、つながりが断ち切られていることから、やや扱いにくいと思われる。必要な資料は分かりやすく示されていました。ただし、災害の備え・食品群別摂取量の目安については資料がやや不足していると思います。食品分析成表は文字の小ささ、文字の薄さ、色別の少なさなどの点で活用しにくいと思われる。巻末資料は内容別の「用語説明」などが充実している点が良いと思います。QRコードを活用して補足資料を確認できますが、QRコードの掲載ページは当該ページではなく各編の冒頭に一括して示されているので、使いにくいと考えられます。次に【教育図書】です。「くらしの創造」を基にAからDまで四つの内容ごとに、流れが系統立てられ分かりやすいものになっています。イラストも興味・関心を引き出す工夫がされていました。どの内容についても、基礎・基本が充実しています。技術の習得に活用しやすい資料や写真が扱われており、住の和の文化など新学習指導要領の重点項目に即していました。目次や側面の表示は扱いやすい工夫がされており、QRコードを活用することで補足資料を確認することができるようになっていました。続いて【開隆堂】です。「自立と共生」を基にAからDまで四つの内容ごとに流れが系統立てられていました。イラストや写真はやや古いものやピントの合っていない写真があり、興味・関心を引き出すには不十分かなと考えられます。「主体的」「対話的」「深い学び」の流れで学習過程が統一されており、豆知識が生活に役立つような工夫がされています。内容やページによって差があるため、見やすさ、使いやすさの工夫は十分とは言い切れない面がありました。QRコードを活用することで補足資料を確認できる工夫がされています。

冒頭で申し上げました「新学習指導要領 技術・家庭編」における教科の目標のうち、家庭分野の目標で示された「衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して」とは、理論

のみの学習に終わることなく、調理、製作等の実習や、観察、調査、実験などの、実践的・体験的な活動を通して学習することによりまして、習得した知識及び技能を生徒自らの生活に生かすことを意図したものです。

この点について東久留米市の子どもたちの実態を踏まえたと、選定調査委員会では技術・家庭を総合的に見まして「教育図書」または「開隆堂」が使用に適切なのではないかとという方向で話し合われました。説明は以上です。

○園田教育長 ご質問、ご意見いかがでしょうか。

○細田教育委員 学習指導要領の改訂に伴い学習する内容が変更されたことについて、教科書の特徴と併せて説明をお願いします。

○出張委員長 ありがとうございます。これまでの学習指導要領とは内容の構成が変わっております。新たに「C消費生活・環境」が新設されました。これにより、小学校家庭科から中学校家庭科への系統性が明確化されたと言えます。「東京書籍」では全体の10%程度、「教育図書」及び「開隆堂」では全体の15%程度のページ数を占めている状況です。消費者被害の背景とその対応や消費生活・環境についての課題と実践が新しい項目となっています。また、今回の学習指導要領の改訂から「和の文化」が加わり、「東京書籍」ではやや写真が小さめではありますが、分かりやすい工夫がされています。「教育図書」では各分野において写真や資料が豊富で、子どもたちにとってなじみのない内容でも理解しやすい工夫がされていました。また「開隆堂」では小さく古い写真やイラストなどを用いて説明してありました。そのようなことが言えると思います。

○園田教育長 ほかによろしいでしょうか。

○細田教育委員 新設事項については、どの教科書会社も子どもたちにとって分かりやすい工夫がされていることが分かりました。私たちも子どもたちにとってより学習に効果的になる教科書という観点から採択を行いたいと改めて思いました。ありがとうございました。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。

○馬場教育委員 先ほどの技術の採択のときに、SDGs、持続可能な社会の実現について、家庭との連携についての記載がされている教科書があるといった説明がありましたが、家庭の教科書ではどのように扱われていますか。

○出張委員長 持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数は「東京書籍」で6、「教育図書」では3、「開隆堂」では5となっています。「東京書籍」では食生活、衣生活、住生活、省エネルギー、消費者生活などの観点から取り上げています。また「教育図書」では衣服、消費者生活、地球温暖化と消費者の観点から取り上げていました。「開隆堂」では家庭生活、食生活、衣生活、住生活などの観点から取り上げていました。食生活については食料自給率や食品の廃棄など、衣生活については資源や計画的な活用、環境に配慮した選択などが話題として出されていました。

○馬場教育委員 ありがとうございます。各家庭で工夫して節約することについて、持続可能な社会の実現のために授業でその必要性を効果的に教えてくれるのはありがたいと思います。

特に、現代社会の課題になっている少子高齢化について、「教育図書」では家族で話し合おうみたいなトピックスを挙げていたり、節約や家庭を築く上での買い物の仕方や栄養面を考えながらメニューを考えてみようなど、家族の一員としての目線をすごく重要視しているのは身近でいいと思いました。授業ではそういったところを効果的に活用していただけたらと思いました。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では採択に入ります。

○栗岡総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡総務課長 結果を申し上げます。教育図書3票です。開隆堂2票です。

○園田教育長 よって「家庭科」は「教育図書」となりました。

〔外国語〕

○園田教育長 次に「外国語」の説明をお願いします。

○出張委員長 初めに、新学習指導要領に示された教科の目標についてお伝えします。「外国語(英語)」についてです。「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

次に、各教科書について説明します。選定調査委員会の資料の57ページをご覧ください。

6社ありますがいずれの教科書も共通して、今年度から教材化された小学校外国語からの接続を丁寧に扱っていました。先ず【東京書籍「NEW HORIZON」】です。A4判を基本としていますが、他の教科書よりも縦の長さが長い教科書になっています。幾つかのステージから構成され、ユニットごとに「～ができる」と表現したgoalが示されていました。場面設定、物語の順で学ぶ構成となっています。ステージ末には長文があり、「3段階読み」で読む力がつくような設定があります。文字のフォントは1年生では小学校との接続を意識しており、手書き文字となっています。1年生の最後の長文から活字文字に移行しており、その後2年生、3年生と活字のフォントになっていきます。ページごとにQRコードがついていました。次に【開隆堂「SUNSHINE」】です。AB判です。単元はプログラムから構成され、本文の趣旨を「～しよう」という表現でgoalが記されていました。全て習得→思考→表現の流れで定着を目指しているものになっています。文字のフォントは第1学年前半では、小学校と同じフォントで手書き文字となっています。第1学年の後半からゆっくりと活字フォントに移行しており、第2学年からは活字フォントとなっています。アクションカードなどの付録があり、SDGsを基調として多くの題材の取扱いがなされています。またページごとにQRコードが付けられていました。次に【三省堂「NEW CROWN」】です。AB判で作られています。単元の初めに学びの見通しを本文の趣旨として示し、知識・技能の習得、思考力・表現力・判断力を養う構成となっています。また、最後には振り返りが設定されています。文字のフォントは全学年手書きを主とした書体としていました。ただし、物語や手紙などの教材では活字体を用いています。また、文字の大きさは大きいです。単語と文章に分けQRコードが付いています。次は【教育出版「ONE WORLD」】です。文字のフォントは第1学年では小学校と同じ手書き体となっていますが、最後の物語では活字体が使用されています。2年生以降は活字体になっていきます。題材は世界の多様なあり方や課題を自分のこととして向き合えるようなものを取り上げており、教科書の名称ONE WORLDの由来をなしていると思われます。また、SDGsの達成を目指した内容になっていました。単元ごとにコードを1つ付しているところが特徴です。次に【光村図書「Here We Go」】です。AB判です。3年間ひと続きのストーリーとして4人の中学生の成長物語を扱うことで、生徒が自分の言葉で表現できることを目指した教科書になっています。ユニットごとにリスニング・スピーキングのgoalが示されており、単元末に振り返りができるような構成です。また、Can Do Listを非常に意識した構成となっていました。文字のフォントは第1学年が小学校と同じ手書き体からブロック体になりまして、2年生からはセリフ体(活字体に似て

いる) フォントに変化しています。こちら各ページにQRコードが付けられています。

【啓林館「BLUE SKY」】です。A B判で構成されています。各ユニットでは、「～ができる」という目標が示されています。また、Get Ready・Practice・Use とタイトルが書かれまして、スモールステップで定着させる工夫がされています。文字のフォントは1年生では小学校と同じ手書き体になっていますが、最後の物語では活字体が使用されています。そして第2学年以降は活字体となっています。こちら小単元のパートごとにQRコードが付するように工夫されていました。

今回の学習指導要領の改訂では小学校に新たに外国語科が導入されたため、これまで以上に小学校における学習との接続に一層留意する必要があります。小学校までの学習の成果を中学校において円滑に接続しまして、育成を目指す資質・能力を生徒が確実に身につけることができるような工夫することにつながると思います。このことは小学校で使用している教科書会社を継続して中学校でも使用するというものではありませんで、生徒が基礎的・基本的な知識を確実に習得しながら、既存の知識と関連づけた組み合わせをしたりしていくことによりまして、学習内容を深く理解して知識の定着を図りまして、社会における様々な場面で活用できる概念としていくことと捉えています。

こういう観点において東久留米市の子どもたちの実態を踏まえまして、選定調査委員会では、総合的には「三省堂」または「光村図書」が使用に適切なのではないかという方向で話し合われました。説明は以上です。

○園田教育長 ご意見、ご質問いかがでしょうか。

○馬場教育委員 説明で文字フォントのことが取り上げられていますが、具体的にはどういうことか教えていただけますか。

○出張委員長 フォントですね。現在、小学校で外国語の授業においても英語の読み書きを行っています。その系統性及びいわゆる活字独特の「a」や「g」等の表記が文字の認識に課題のあるお子さんには認識しにくいということの配慮から、どの教科書も手書き体からの導入をしています。活字体の移行には先ほど説明しましたように、会社により時期が様々異なっているような状況になっています。

○馬場教育委員 分かりました。ありがとうございます。先ほどご説明されたとおり、英語でも小学校からの系統性がますます重要視されているということで、小学校で学んだ内容を生かして中学校で新たな気持ちで英語を学習してほしいと思っています。中学校での学習内容がしっかりと身につけられるように、多少、量が多かったり内容が難しかったりしても、子どもたちの学びにとってよい教科書にならなければいけないという観点で教科書を見ました。

先ほど触れたように、キャラクター的に受け入れられない教科書が何点かあったのと、「三省堂のNEW CROWN」はとてもよくまとまっていて、付録の単語のまとめ方が秀逸で、他とはちょっと違って、生活に使う単語、運動とかに分かれていてとても使いやすくなっていました。見た目は普通ですがとてもレベルが高く、見やすいです。中学3年生の教科書ともなるとすらすら訳せないのもあるぐらいです。系統性を見ると「光村図書」もとてもよくて見やすいし、自己評価もついているので、少し難しいけれども小学校の時も頑張ってやっているのを引き続けるのか。それとも同じ教科書を使っていくのか。内容的には両方ともきちんと指導要領を網羅しているので心配はないと思いますが、そういったところから選ぶのにちょっと難しいと感じました。

○園田教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

○宮下教育委員 新学習指導要領では取扱いの「語数」が現行の1,200語程度から小学校で

学習した1,600から1,800程度を加え、2,200から2,500語程度に改訂されています。現行の語数と比較すると大幅に増加したような感じがします。

また、英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、やりとりすること、発表することなどの話すこと、書くことなどの五つの領域の目標の実現を目指した指導を通して一体的な資質・能力の育成が求められています。先日、中学校の英語の授業を拝見する機会がありました。子どもたちは大変意欲的に取り組んでいました。その意欲を失わないように学習手だてを考えなければいけないと強く感じました。このような観点から各社の教科書でお気づきの点がありましたらお話しいただければと思います。

○出張委員長 ありがとうございます。各社とも工夫をしています。「東京書籍」や「啓林館」では実生活に関する題材をつくっています。また「光村図書」では学年に応じた多様性のある題材を扱うことで、学習しやすい工夫がされていました。「開隆堂」では活動を明確にし、学習しやすいような工夫がされています。「三省堂」では題材が深く、考えさせたり意見が分かれたりするなど多様性に富んだものであり、学習意欲を高められる工夫がされています。「教育出版」は実生活に関わる内容やグローバルな問題意識を含む多くの題材を扱って、知的好奇心を満たす工夫がされています。これらを活用することで子どもにとって無理なく主体的・対話的に学べるような指導を行うことができると考えています。

○園田教育長 よろしいですか。

○宮下教育委員 先ほどから何回となく話をさせていただいていますが、東京都の学力向上を図るための調査結果において、東京都の平均と東久留米市の中学校英語の習得目標値と達成目標値を比較してみるとかなり低い状況にあります。このような状況を打破して改善するためには多種多様な方法で各社が工夫されている内容を吟味して、これからの英語教育を進めていかなければならないと考えています。特に、コミュニケーションにおける活用できる技能の育成と、その技能を使ってコミュニケーションを図ろうとする場面や状況に子どもたちを置くことができる環境の工夫が見える教科書を探しながら、選定に立ち向かっていこうと思います。

○園田教育長 ほかにいかがですか。

○尾関教育委員 新学習指導要領で改訂されたことについて、宮下委員のご発言以外に各教科書について大きな特徴はありますか。

○出張委員長 学習指導要領が改訂されたということではありませんが、英語に関しては学習指導要領において、例えば数学のように学年ごとではなくて、3年間の中で学ぶべき内容が示されているわけです。このことを踏まえますと各教科書会社によりましては、学習する文法事項の出順が異なったりする傾向がありました。そこで採択する教科書に応じて、現1、2年生が2、3年生になった時に学習事項を全て履修できるように配慮していく必要があると考えます。

○園田教育長 よろしいですか。

○尾関教育委員 今の話を受け、仮に教科書が変わった時にはしっかり指導計画を作成すれば、履修漏れというのは防げるのではないかと思います。私は少なくとも小学校で初めて英語を教科とした今の6年生、来年中学1年生ですが、その子どもたちが3年間は戸惑いなく英語に違和感なく学習していくということからすると同じ教科書の方がいいのではないかと一つはそのように思います。それからもう一つは、3年間でストーリー性を持って教科書をつくっているという、4人の中学生の成長物語を扱っているのは「光村図書」だけです。どうしても日本人は受験英語を学ぶことによって違和感や嫌悪感が出てくる子どもが多くいるわけで

すから、すんなり身につけていくという点から教科書を選んでいきたいと思えます。

○園田教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしければ採択に入らせていただきます。

○栗岡総務課長 投票用紙をお配りします。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡総務課長 結果を申し上げます。三省堂3票です。光村図書2票です。

○園田教育長 よって「外国語」は「三省堂」となりました。

〔道徳〕

○園田教育長 次に特別の教科「道徳」についての説明をお願いします。

○出張委員長 初めに、新学習指導要領に示された教科の目標についてお伝えします。

「特別の教科 道徳」については、「よりよく生きるための理解を基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」とあります。選定調査委員会の資料の63ページをご覧ください。

先ず【東京書籍】から説明します。A5判です。28個のテーマの中に35本の教材で構成されています。さらに5本の付録教材が用意されていて、40本の教材の中には現代的な課題への対応をしたものが多くあります。各教材には内容項目の四つの視点のうち、どの視点に当てはまるかが一目で分かる視点マークが表示しています。また、設問を2問として話し合いの時間を確保する配慮がされています。役割演技や体験的な学習を主体として「ACTION!」や1年生の教科書では探究の対話「p4c (philosophy for children) など、考え、議論するためのツール等の工夫が見られました。巻末にホワイトボード用のペンを使う紙や心情円があり、考えを表現しやすいようになっていました。次に【教育出版】です。B5判です。補充教材を入れて35本の教材で構成し、現代的な課題等への対応した内容を各学年扱っています。各教材には内容項目の四つの視点のうち、どの視点に当てはまるかが一目で分かる同じマークを表示しています。また、深い学びにつなげるための三つの問題を掲載していました。巻頭で道徳の授業の受け方について書かれていますので、活用しやすくなっています。毎時間後の「授業の記録」や学期末ごとの「道徳の学びを振り返ろう」があり、振り返りを記録するページを設けていました。次に【光村図書】です。B5判です。31本の教材に4本の補助教材があり、「現代的な課題」と向き合うための教材も多く扱っています。教科書としての構成がしっかりしていると言えます。各教材には内容項目の四つの視点について、区別が付きやすいアイコンと端的な言葉により表示されています。また、学習の目当てと発問の2問を掲載しています。巻末折込にポートフォリオ形式の振り返りシート「学びの記録」があり、活用しやすくなっていました。「学びのテーマ」から気づきの促し、1単位時間の学びから1年間の学びへの流れに一貫性があります。見方を変えるための発問があり、教師の工夫で多様な学習活動に発展させることができると思えます。次に【日本文教出版】です。B5判です。35本の教材で構成されており、現代的な諸課題に係わる様々なテーマを取り上げています。各教材には内容項目の四つの視点について区別が付きやすいマークと、この教材で「何について考えるのか」を明示した主題名により表示されています。また、考え、議論し深めるための発問及び学んだことを生かすための発問の2問を設けています。巻頭にはそのテーマの一覧を設け、1年間の見通しをもって取り組める工夫もされています。別冊として「道徳ノート」が教科書の巻末に納まるようになっていて扱いやすくなっています。「道徳ノート」は教員及び生徒にとって、より自由に活用できる内容に構成さ

れていました。次に【学研】です。AB版です。35本の教材で構成されており、「現代的な課題」への取組教材を扱っています。各教材には内容項目の四つの視点について区別がつきやすいマークで表示されています。さらに、生徒が教材に興味を持てるように、教材の一部抜粋などキーフレーズを入れているのが特色となっています。「命の教育」を重点テーマとしているのも特徴です。各テーマについて「クローズアップ」「深めよう」の部分で自らの考えをまとめられるよう工夫されています。巻末には学期末ごとに振り返りができるような「学びの記録」が準備されていました。次に【廣済堂あかつき】です。AB判です。35本の教材と3本の補助教材から構成されています。「生命尊重」「いじめ防止・人権尊重」を最重要課題として扱っているのが特徴です。「現代的な課題」に取り組む教材もあります。各教材には内容項目の四つの視点について分かるようなマーク等の表示はありませんでした。取組教材と連携した別冊「道徳ノート」があり、資料が22本用意されていました。学習の記録や振り返り用のページも用意されていました。最後は【日本教科書】です。B5判です。37本の教材があり、その中には現場の教師が執筆したオリジナル教材が多数ありました。そのため取扱いに難しさのあるものや新たに教材研究をする必要のある教材も多くあります。各教材には内容項目の四つの視点について分かるようなマーク等の表示はありませんでした。教材の配列が学習指導要領の内容項目順に配置してあるのが特色です。コラムを扱っていますが、直前の教材との関係においてその意図が伝わりにくい面がありました。1年間の振り返りを設けていますが、生徒にとって扱いにくい面もあると考えられます。

冒頭で申し上げましたが、「新学習指導要領 特別の教科、道徳編」における教科の目標を達成するためには、道徳の授業が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるように、計画性をもって指導を行うとともに、他の教科等々における道徳教育として取り扱う機会が十分ではない道徳的価値に関する指導を補うことなどが大切であります。

この点について東久留米市の子どもたちの実態を踏まえますと、選定調査委員会では、総合的には「光村図書」または「学研」が使用に適切なのではないかとという方向で話し合われました。説明は以上です。

- 園田教育長 ご質問、ご意見はありますか。
- 馬場教育委員 道徳性は、本来でしたら日常の家庭生活や学校生活の中で子どもたちに自然に培われていってほしいと考えています。道徳の授業は物事を広い視野から捉えて話し合うことや考えること、人間としてより良い生き方について考えを深める学習の時間であってほしいし、自分自身に関することや他人との関わり、自立心、思いやりなどを培っていければと思います。ただし、それは授業や教科書からの押しつけや受け売りではなくて、生徒自ら考えて消化して、具現化できるようになってほしいと思います。ですが、道徳の教科書の重要性は高いと思っていますので、各教科書の内容の特徴をまず説明していただけたらと思います。
- 出張委員長 それでは四つの領域でありますので、その区分における教材の数でお答えさせていただきます。主として自分自身に関することについては「東京書籍」が21、「教育出版」も21、「光村図書」が23、「日本文教出版」が18、「学研」が24、「廣済堂あかつき」が24、「日本教科書」が20となっています。次に、「主として人との関わりに関すること」については「東京書籍」22、「教育出版」20、「光村図書」も20、「日本文教出版」も20、「学研」が22、「廣済堂あかつき」が21、「日本教科書」が23という構成になっていました。3点目の「主として集団や社会との関わり

に関すること」については「東京書籍」「教育出版」が43、「光村図書」が35、「日本文教出版」が46、「学研」37、「廣済堂あかつき」36、「日本教科書」47です。最後の「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」については「東京書籍」25、「教育出版」「光村図書」「日本文教出版」がそれぞれ21、「学研」が22、「廣済堂あかつき」が24、「日本教科書」が21でした。このほか、これらの領域に区分されない視点や内容項目の設定がない教材が「東京書籍」で3、「光村図書」では6ありました。「主として集団や社会との関わりに関すること」は内容項目の数が9ありまして、他の領域の項目の5や4の倍程度ありますので、教材の数は各領域に占める割合としてはそれほど大きく変わらないのではないかと考えています。

○馬場教育委員 ありがとうございます。内容を見た感じだと、「光村図書」の肖像権についてや自分のルールを作ろうとか、怒りの感情のマネジメントとか、現代社会において必要なことに対する考え方とかの現代物かと思えば、アンネのバラ戦争を学ぶきっかけがあり、とてもバランスがよかったですと思います。「東京書籍」では星野富弘さんがドーピングを打ち明けた苦悩があり、全部教科書に書いてあっては教材にならないので、教え切つてはいけなと思います。よいきっかけを与える題材がどれにも入っていたと思います。そういうところからきっかけを与えて読書をしたりといろいろ広がっていくと思いました。現場の先生方に一つ一つ教材をじっくり吟味してもらい指導していただくことは大変ですが、とても重要だと思しますのでよろしくお願いします。

○園田教育長 ほかにいかがでしょうか。

○尾関教育委員 道徳に関しては、前回採択してから2年ということで、「一つ一つの教材をしっかりと指導してほしい」というご発言がありましたが、そうした中で成果を挙げるには継続が必要ではないかと思っておりますがその点はいかがですか。

○出張委員長 個人的な意見はなかなか申し上げにくいところがありますが、選定調査委員会として総合的に判断してお伝えしたい内容としましては、資料作成委員、現在の先生方の声も受け止めて協議したものとお考えいただければと思います。よろしくお願いします。

○尾関教育委員 2年前にわれわれが時間かけて協議したことです。そのことも踏まえて継続は力なりという面もあると思いますので、東久留米市の子どもたちのために教科書を考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

○園田教育長 ほかはいかがでしょうか。よろしいですか。よろしければ採択に入ります。

○栗岡総務課長 投票用紙を配らせていただきます。

(投票用紙配付) (投票・開票)

○栗岡総務課長 結果を申し上げます。光村図書5票です。

○園田教育長 よって「道徳」は「光村図書」となりました。

出張調査委員長、長時間の対応ありがとうございました。

(出張選定調査委員長 退席)

○園田教育長 以上をもちまして、「議案第36号 令和3年度～6年度使用東久留米市立中学校用教科用図書の採択について」を終了します。

◎閉会の宣告

○園田教育長 以上で令和2年第5回教育委員会臨時会を閉会します。長時間ありがとうございました。
(閉会 午後2時20分)

東久留米市教育委員会会議規則第28条の規定により、ここに署名する。

令和2年9月15日

教育長 園田喜雄 (自書)

署名委員 宮下英雄 (自書)